

AXIS 7000/FX
ネットワークドキュメントサーバ
ユーザーズマニュアル

2001 年 1 月 第 1 版発行



注意事項

安全のために

本製品を安全にご利用頂くために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因になります。

表示の意味は以下のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告!	データの消失やお使いの機器への損害を避けるために注意して読む必要があります。
重要!	操作上の損害を避けるために注意して読む必要があります。
警告	この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、データや通信の消失、物的損害の発生する可能性があります。

異常時の処理について

警告	万一、内部に水などが入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、内部に異物が入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
	万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。すぐに電源アダプタ本体をコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
	電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り扱いについて

警告	本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。
	本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
	弊社の指示がない限り、本装置を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	弊社の指示がない限り、本装置のケースを外さないでください。電源部や内部に触れると火傷、感電、故障の原因となります。
	ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
注意	移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線はずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。

電源について



警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ（プラグ）の刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

タコ足配線はしないでください。火災、過熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にねじまげたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災、感電、故障の原因となります。



注意

電源アダプタを抜きときは、必ず電源アダプタ本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。

設置場所について



注意

直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は安全のために電源アダプタをコンセントから抜いて行ってください。



注意

アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。

静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

年に一度は電源コードを抜き、プラグおよびコンセントに付着しているゴミ、ホコリ等を取り除いてください。

このマニュアルについて

このマニュアルの内容は、製品ソフトウェア（ファームウェア）バージョン 1.00 以降を搭載した AXIS 7000/FX ネットワークドキュメントサーバ（以下 AXIS 7000/FX）に対して適用されます。このマニュアルには基本的な情報、また、お使いのネットワーク環境への AXIS 7000/FX のインストール、さらに管理方法などの詳しい手順が含まれます。基本的なネットワークの原理を理解していればこのマニュアルを最大限に活用することができますが、必須条件ではありません。

表記の規則

[]	メニュー、ページ、ボタン、リンクの名称などは [] で囲みます。
斜体	入力する情報またはパラメータの種類を示します。
Courier (固定長フォント)	画面に表示されるテキストを示します。コマンドラインに入力するもの、ダイアログボックスに入力するものを示します。

電波に関する適合性 (EMC)

米国 - This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause interference to radio communications. It has been tested and found to comply with the limits for a Class A computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference when operated in a commercial environment. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause interference in which case the user at his/her own expense will be required to take whatever measures may be required to correct the interference. Shielded cables should be used with this unit to ensure compliance with the Class A limits.

欧州 - This digital equipment fulfils the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022, and the requirements for immunity according to EN55024 residential, commercial, and light industry (Compliance is not valid for unshielded network cables)



責任

アクシスコミュニケーションズ株式会社（以下 Axis）は、このマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また Axis は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。Axis は、Axis 製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。Axis は、このマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切いたしません。

著作権に関する情報

著作権および国際的な所有権、または知的所有権により保護されている著作物を許可なく複製することは、ほとんどの国で禁止されています。Axis は本装置のユーザが著作物を複製するときには、必要な許可を得ようお勧めします。このマニュアルに記載されている本装置を使用するための指示は、著作物の違法な複製にはあたりません。いかなる複製も、ユーザの自己責任において行ってください。

商標

Acrobat、Adobe、AIX、DOS、Ethernet、IBM、インターネットエクスプローラ、Macintosh、Microsoft、Netscape Navigator、OS/2、UNIX、および Windows は、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの商標

JPEG code (libjpeg) used courtesy of the Independent JPEG Group. LDAP code (libldap and libber) used courtesy of the University of Michigan at Ann Arbor. Copyright © 1991 Regents of the University of Michigan. All rights reserved. TIFF code (libtiff) used courtesy of Sam Leffler and Silicon Graphics, Inc. Copyright © 1988-1996 Sam Leffler. Copyright © 1991-1996 Silicon Graphics, Inc.

サポートサービス

インターネットがご利用になれる場合は、技術サポート情報、更新された製品ソフトウェア（ファームウェア）、ユーティリティソフトウェア、会社情報など、下記のアドレスからご覧頂けます。

WWW: <http://www.axiscom.co.jp/>

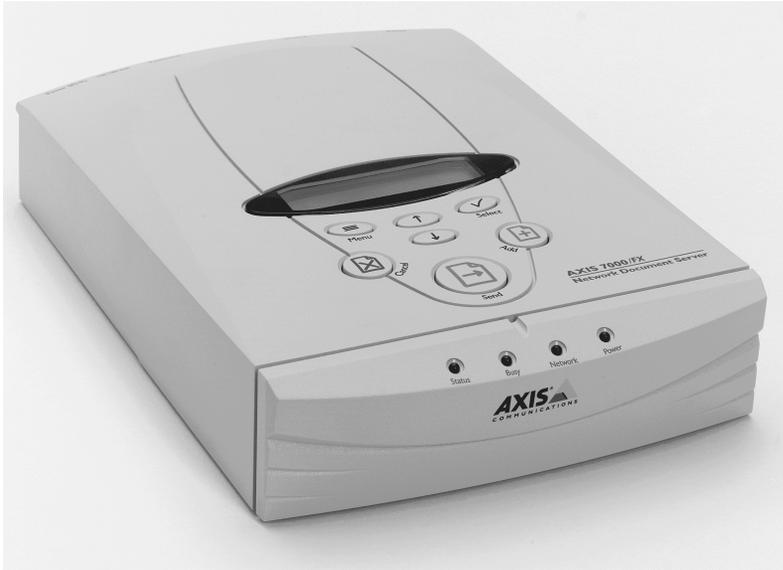
その他

このマニュアルの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合には、info@axiscom.co.jp までご連絡ください。

AXIS 7000/FX ネットワークドキュメントサーバユーザーズマニュアル 第1版
2001年1月発行
Copyright © アクシスコミュニケーションズ株式会社、2001

まえがき

AXIS 7000/FX をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。AXIS 7000/FX は、デジタル複写機やスキャナをイーサネットおよびファーストイーサネットネットワークに自在に接続することを可能にします。ThinServer テクノロジーに基づき、最適化されたハードウェアと Web ベースの管理ツールによって、ワークグループや組織、さらにインターネット上における紙をベースとした情報の配布やファイリング作業を簡素化します。



Axis について

Axis Communications は、ネットワークに接続されたコンピュータ周辺機器に対する革新的なソリューションを提供することを専門としています。1984 年に創立されて以来、市場において最も急速に成長している企業の一つであり、この分野におけるリーダー的存在です。

ThinServer テクノロジー - ThinServer テクノロジーにより、Axis 製品はファイルサーバに依存しない、インテリジェントな ThinServer デバイスとして動作することができます。ThinServer デバイスは、マルチプロトコル通信、スケーラブルな RISC ハードウェア、さらに標準的な Web ブラウザを利用した簡単なアクセスおよび管理を可能にする、内蔵 Web サーバ機能を備えた「スリム」なサーバソフトウェアを含むネットワークサーバです。ThinServer テクノロジーは、さまざまな電子デバイスをネットワークに接続することを可能にし、「あらゆるものへのアクセス」を提供します。

現在、Axis から以下のような ThinServer 製品が提供されています。

ネットワークプリントサーバ - ネットワーク上でプリンタを共有する、強力かつ経済性に優れた手段を提供します。標準的なプリンタと接続し、高性能かつ簡単な管理、さらにネットワーク経由でのアップグレードなどの機能を提供しています。ネットワークプリントサーバには、イーサネット版、ファーストイーサネット版、トークンリング版があります。

ネットワーク CD-ROM サーバ - ネットワーク上で CD-ROM を共有するための柔軟でコストパフォーマンスの高いソリューションを提供します。CD-ROM サーバには、イーサネット版、ファーストイーサネット版、トークンリング版があります。

ネットワークカメラサーバ - 標準的なインターネット技術を利用し、お使いの Web ブラウザからカメラサーバにアクセスしてライブ画像を楽しむことを可能にします。インターネットを利用したリモート監視を行うためのソリューションを提供するとともに、そのシャープな画像は Web サイトに活気をもたらします。カメラサーバは、イーサネットおよびファーストイーサネット、公衆電話回線に対応しています。

ネットワークドキュメントサーバ - ネットワークを利用し、紙をベースとした情報を簡単に配布することを可能にします。読み込んだドキュメントをインターネット / イン트라ネット経由で送信することにより、ファックスおよび郵便のコスト削減や作業時間の短縮など、組織の作業効率の向上に役立ちます。

目次

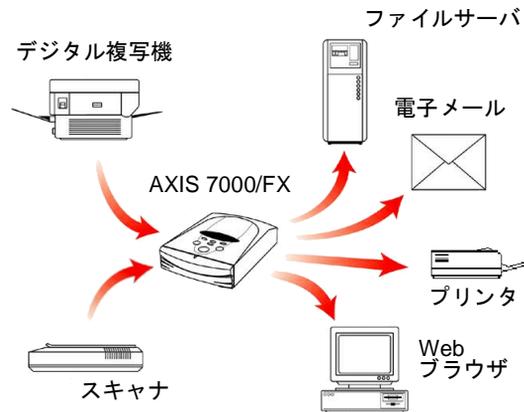
第 1 章	はじめに	9
	AXIS 7000/FX ネットワークドキュメントサーバ	9
	機能と利点	9
第 2 章	ハードウェア仕様	13
	コントロールパネル	15
	外部キーボード	17
第 3 章	基本インストール	19
	ハードウェアの開梱と検査	19
	AXIS 7000/FX をデジタル複写機 / スキャナに接続する	20
	AXIS 7000/FX をネットワークに接続する	21
	IP アドレスを割り当てる	22
	IP アドレスにホスト名を関連付ける	29
	インストール結果を確認する	30
第 4 章	AXIS 7000/FX を設定する	33
	管理ツールの概要	34
	システムの設定を行う	36
	ネットワークの設定を行う	39
	送信先を指定する	48
	プロファイルを指定する	59
	用紙サイズを指定する	66
	FTP を利用して設定する	67
第 5 章	AXIS 7000/FX を使用する	69
	読み取り方法	70
	送信先を指定した読み取り	72
	一時的な送信先を追加する	75
	一時的なプロファイルを追加する	77
	読み取りパラメータ	78
	Web ブラウザに送信する	81
	イメージファイルを表示する	83
付録 A	トラブルシューティング	85
	工場出荷時のデフォルト設定に戻す	85
	フロントパネルインディケータの動作	88
	エラーと警告メッセージ	89
	ログファイルを表示する	92
付録 B	パラメータリスト	93

付録 C	ファームウェアの更新	103
	更新されたファームウェアを入手する	103
	フラッシュメモリを更新する	103
付録 D	技術仕様	105
付録 E	用語集	107
付録 F	保証について	111
索引	113

第1章 はじめに

AXIS 7000/FX ネットワークドキュメントサーバ

AXIS 7000/FX ネットワークドキュメントサーバは、紙ベースの情報を電子メールアドレス、ファイルサーバ、PC、またはプリンタに配信します。AXIS 7000/FX をデジタル複写機やスキャナに接続し、そしてお使いのイーサネットネットワークに接続するだけで、簡単にドキュメント、写真、レポート、および他の紙ベースの情報を企業配布リスト宛て、または世界中に送信できます。



AXIS 7000/FX は独立した装置で、デジタル複写機やスキャナのそばに設置します。読み取ったドキュメントを電子メールアドレスやファイルサーバに電子的に配布できる便利な機能を利用するには、デジタル複写機やスキャナといった読み取り機器ごとにAXIS 7000/FX が1台必要です。

機能と利点

ファイルサーバから独立

AXIS 7000/FX は、1つのノードとしてイーサネットまたはファーストイーサネットネットワークに接続され、デジタル複写機やスキャナといった読み取り機器を、一般的なインターネットプロトコルを利用してアクセスできるようにします。ネットワークのクライアントと直接通信を行い、ファイルサーバから独立して使用できるため、ネットワークのライセンス料を軽減できます。AXIS 7000/FX は、高い性能と信頼性、および他の機器から独立した操作を実現します。

手軽さ ファイルサーバから独立することにより、インストールを素早く、簡単に行えます。ほとんどの環境で、ネットワークに物理的に接続するだけで AXIS 7000/FX を使用できるようになります。必要なものは、TIFF、JPEG、PDF 形式の画像を表示するソフトウェアだけで、クライアントやファイルサーバに特別なソフトウェアをインストールする必要はありません。

Web を利用した管理 AXIS 7000/FX の内蔵 Web サーバは、Netscape Navigator やインターネットエクスプローラなどの標準的な Web ブラウザを利用した、プラットフォームに依存しない管理作業を実現します。動的に生成される内蔵 Web ページは、メニューを利用した設定や管理機能、状況依存ヘルプ、リンク、ドキュメント、オンラインサポートを提供します。

柔軟性 AXIS 7000/FX のコントロールパネルから、電子メールアドレス、FTP サーバ、ネットワークプリンタにドキュメントを直接送信またはコピーすることができます。さらに、標準的な Web ブラウザを利用してドキュメントの読み取りを開始し、読み取ったドキュメントを保存できます。

AXIS 7000/FX では複数の転送方法とイメージ形式が利用できるため、既存の業務フローへの導入が容易に行えるとともに、ユーザの要望に合わせて活用することが可能です。

使いやすさ AXIS 7000/FX は、お使いのネットワークおよびデジタル複写機やスキャナに対し、簡単かつ素早くインストールが行えるよう設計されています。AXIS 7000/FX には、紙ベースの情報の配信を簡素化する、以下のような特徴があります。

- Send-to-E-mail
- Send-to-File
- Send-to-Print (Raw TCP/IP または LPD を利用)
- Send-to-URL
- Send-to-Web browser
- Web ベース (HTTP) の管理と設定が可能
- 対応スキャナおよびデジタル複写機のプラグ & プレイ機能を提供
- 特別なソフトウェアを必要としない
- スキャナドライバ、イメージファイル生成、ネットワーク転送手段が統合
- よく利用する送信先およびプロファイルの保存
- 外部電子メールアドレスに対応
- 業界標準に対応

速度 AXIS 7000/FX は、ローカルネットワークセグメントの速度を自動的に検出し、データ通信の速度（10Mbps または 100Mbps）に合わせて速度を変更する機能を持ちます。イーサネット、またはファーストイーサネットネットワークで、ユーザに気づかれることなく動作します。

改良された AXIS ETRAX 100 は、統合された 32 ビット RISC プロセッサと、付随するネットワークコントローラにより構成されます。高性能かつ信頼性の高い、低消費電力のチップです。

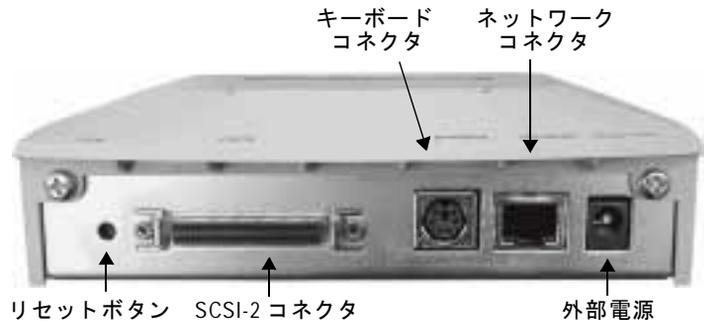
保護 管理ツールへのパスワード保護に対応しています。

ファームウェアの更新 FTP を利用した、フラッシュメモリへのファームウェアのダウンロードが可能です。

第 2 章 ハードウェア仕様

この章では、AXIS 7000/FX のハードウェアの仕様、また、コネクタ、インディケータ、ユーザインターフェイスの機能について説明します。

バックパネル



リセットボタン リセットボタンは、AXIS 7000/FX を工場出荷時のデフォルト設定に戻すために使用します。詳しくは、85 ページ「工場出荷時のデフォルト設定に戻す」を参照してください。

SCSI-2 コネクタ デジタル複写機やスキャナに接続するための、SCSI-2 コネクタを備えています。

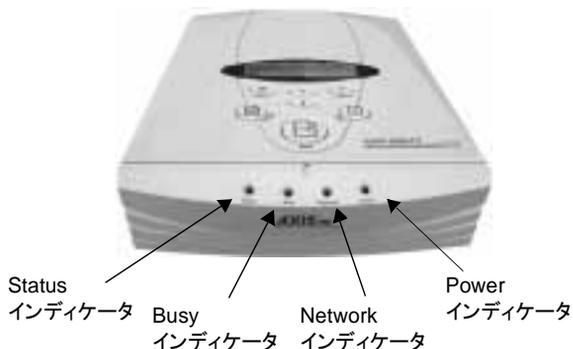
ネットワークコネクタ AXIS 7000/FX は、10Mbps イーサネットまたは 100Mbps ファーストイーサネットのために設計されています。RJ-45 コネクタを持つツイストペアカテゴリ 5 ケーブル (10baseT または 100baseTX) を利用して、ネットワークに接続します。

AXIS 7000/FX は、ローカルネットワークセグメントの速度に応じてデータ通信の速度を 10Mbps または 100Mbps に自動的に切り替えます。

キーボードコネクタ 標準的な 101 英語キーボードに接続するための、ミニ DIN タイプのコネクタを備えています。

外部電源 AXIS 7000/FX は、外部電源 (PS-E) を使用します。

フロントパネル



フロントパネルのインディケータは、AXIS 7000/FX のステータスを表示します。各インディケータの機能は、以下の通りです。

Status インディケータ Status インディケータは起動時に点滅し、AXIS 7000/FX が使用できる状態になると点灯します。Status インディケータが点灯しない場合は、エラーが発生している可能性があります。

Busy インディケータ Busy インディケータは、AXIS 7000/FX が読み取りを実行している時に点灯します。

Network インディケータ マルチカラーの Network インディケータは、以下のように点滅してネットワークへの接続状況を示します。

黄色 - 10Mbps のイーサネットネットワークに接続

緑色 - 100Mbps のファーストイーサネットネットワークに接続

赤色 - ネットワークに正しく接続されていない

Power インディケータ Power インディケータは、電源が供給されている間は点灯し続けます。Power インディケータが点灯しない、また点滅している場合は、AXIS 7000/FX の本体または外部電源に問題があります。

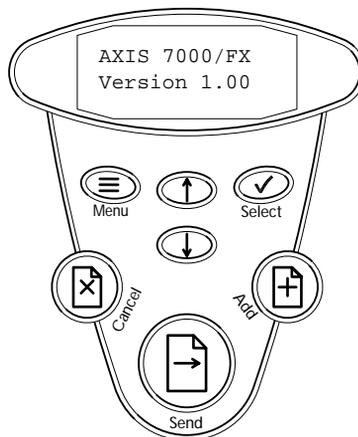
注意：

AXIS 7000/FX がアイドル状態の場合：

Power インディケータは点灯し、Network インディケータは不規則に点滅します。また Busy インディケータは消灯し、Status インディケータは点灯します。

コントロールパネル

AXIS 7000/FX のコントロールパネルには、以下のユーザキーが用意されています。液晶パネルには、選択したメニュー項目や現在のステータスを示すメッセージが表示されます。



メニュー項目やステータスを示すメッセージは、16桁×2行で表示されます。

ユーザキー ユーザキーの機能は、以下の通りです。

Add **Add**  キーは、デジタル複写機やスキャナにセットされたドキュメントを読み取ります。本や雑誌など製本されたものの場合、このキーを使用してページごとに読み取りを実行します。

Cancel **Cancel**  キーは、読み取りを中止し、メニューから選択した項目をクリアします。また、液晶パネルに表示されているエラーメッセージをリセットします。

Menu **Menu**  キーは、メニューをスクロールします。

Select **Select**  キーは、複数の送信先を選択します。

Send **Send**  キーは、読み取ったイメージを選択した送信先に送信し、AXIS 7000/FX を解放して他のユーザが利用できるようにします。このキーを利用すれば、単一ページ、または複数ページの連続読み取りが一回の操作で行えます。

Up/Down **Up**  キーおよび **Down**  キーは、メニューをスクロールして項目を選択します。

ユーザキーの
組み合わせによる
高度な設定

Menu **Menu** (☰) キーを押しながら、**Select** (✓) キーを押します。
Advanced menu が表示されます。

Up/Down **Up** (↑) キーおよび **Down** (↓) キーを利用して、項目のスクロールおよび選択を行います。

- Network Settings (ネットワーク設定)
- Event log (イベントログ)
- Version (ファームウェアバージョン)

Select **Select** (✓) キーを利用して、サブメニューに入ります。

注意：

Advanced menu は、AXIS 7000/FX のコントロールパネルからのみ利用することができます。

外部キーボード

AXIS 7000/FX に、101 英語キーボードを接続することができます。キーボードを利用すれば、長い電子メールリストの検索や、アドレスリストへの一時的なアドレスの追加が簡単に行えます。

注意：

- キーボードを接続する前に、必ず AXIS 7000/FX の電源を切ってください。
- 日本ではオプションのミニキーボード（101 英語キーボード）を AXIS 7000/FX 対応キーボードとして取り扱っています。

キー 各キー操作の機能は、以下のとおりです。

F1 **F1** キーは、スキャナにセットされているドキュメントの読み取りを行います。本や雑誌などの製本されたもの場合は、このキーを利用してページごとに読み取りを実行します。

F1 キーは、コントロールパネルの **Add** キーに相当します。

F2 **F2** キーは、読み取ったドキュメントを選択した送信先に送信し、他のユーザが利用できるよう **AXIS 7000/FX** を解放します。このキーを利用すれば、単一ページ、または複数ページの連続読み取りが一回の操作で行えます。

F2 キーは、コントロールパネルの **Send** キーに相当します。

Esc **Esc** キーは、読み取りを中止し、メニューから選択した項目をクリアします。また、液晶パネルに表示されているエラーメッセージをリセットします。

Esc キーは、コントロールパネルの **Cancel** キーに相当します。

Tab **Tab** キーは、メニューをスクロールします。

Tab キーは、コントロールパネルの **Menu** キーに相当します。

Enter **Enter** キーは、複数の送信先を選択します。

Enter キーは、コントロールパネルの **Select** キーに相当します。

Insert キーを押して新しい電子メールアドレスや件名の追加を行い、**Enter** キーで決定します。

Up/Down **上矢印キー** および **下矢印キー** は、メニュー内の項目をスクロールして選択します。

上矢印 / 下矢印 キーは、AXIS 7000/FX コントロールパネルの **Up/Down** キーに相当します。

注意：

読み取ったドキュメントを送信する際、AXIS 7000/FX は明示的に選択した
しないにもかかわらず、常に最後に表示されていた送信先と読み取りオプショ
ンを利用します。

- Insert** **Insert** キーを押して、電子メールアドレスや件名を追加します。
- Delete** **Delete** キーを押して、一時的に追加したアドレスを削除します。
また、件名の編集集中にこのキーを利用して、文字を削除します。
- Backspace** **Backspace** キーを押して、文字を削除します。
- Left** **左矢印**キーを押して、メニュー項目を逆に進むことができます。
- Page Up** **Page Up** キーを押して、「Send to:」または「Sent by:」リストに含
まれる、最初の文字が異なる次のエン트리へ進みます。
- Page Down** **Page Down** キーを押して、「Send to:」または「Sent by:」リストに
含まれる、最初の文字が異なる前のエン트리へ進みます。
- Home** **Home** キーを押して、リストの最初のエン트리へ移動します。
- End** **End** キーを押して、リストの最後のエン트리へ移動します。

第3章 基本インストール

この章では、以下を含む、製品のインストールの様々な点について説明します。

- ハードウェアの内容物
- AXIS 7000/FX をネットワークに接続する手順
- AXIS 7000/FX のコントロールパネル、DHCP、RARP、BOOTP を利用した IP アドレスの設定手順
- ホスト名の設定手順
- インストール結果の確認手順

ハードウェアの開梱と検査

製品の梱包を開き、以下のリストを利用して内容物を確認してください。不足しているものや破損しているものがあつた場合は、お早めに購入先までご連絡ください。

- AXIS 7000/FX
 - 外部電源 PS-E/ 部品番号: 15511
 - 50ピン高密度シールド付き SCSIコネクタ/部品番号: 14260 (マイクロ D)
 - AXIS 7000/FX 設置台 / 部品番号: AC-001
 - AXIS 7000/FX ユーザーズマニュアル
 - お客様登録カード
- オプションアクセサリ
- ミニキーボード / 部品番号: 17588

AXIS 7000/FX をデジタル複写機 / スキャナに接続する

重要！

- AXIS 7000/FX に同梱されている電源が、専用の外部電源（PS-E）であることを確認してください。
- デジタル複写機 / スキャナの電源を切り、AXIS 7000/FX の外部電源が取り外されていることを確認します。電源を入れたまま装置の接続または取り外しを行うと、SCSI バスが損傷する恐れがあります。

AXIS 7000/FX を、デジタル複写機 / スキャナに接続します。

1. デジタル複写機 / スキャナの電源を切り、AXIS 7000/FX の外部電源を取り外します。
2. SCSI ケーブルを、AXIS 7000/FX の SCSI コネクタに接続します。
3. SCSI ケーブルを、デジタル複写機 / スキャナに接続します。AXIS 7000/FX は内蔵 SCSI ターミネータを備えています。読み取り機器側も同様に、正しく終端する必要があります。方法については、デジタル複写機 / スキャナに付属のマニュアルを参照してください。

AXIS 7000/FX をネットワークに接続する

重要!

ネットワーク設定に変更を加える場合は、事前にネットワーク管理者に相談してください。

以下の手順にしたがって、AXIS 7000/FX をネットワークに接続します。

1. AXIS 7000/FX の外部電源を取り外し、電源を切ります。
2. AXIS 7000/FX をネットワークに接続します。

注意:

AXIS 7000/FX は、10Mbps イーサネットまたは100Mbps ファーストイーサネットネットワーク用に設計されています。ツイストペアカテゴリ5ケーブル（10baseT または 100baseTX）を利用して、ネットワークに接続します。

3. デジタル複写機 / スキャナの電源を入れます。
4. AXIS 7000/FX の外部電源を接続します。電源の投入時とセルフテストの間、Status インディケータが点滅します。セルフテストの実行中、液晶パネルに以下のメッセージが表示されます。

```
AXIS 7000/FX  
Version: x.xx
```

「Version: x.xx」は、AXIS 7000/FX に搭載されているファームウェアのバージョンを示します（例: Version: 1.00）。

注意:

マルチカラーの Network インディケータは、以下のように点滅してネットワークへの接続状況を示します。

- 黄色 - 10Mbps のイーサネットネットワークに接続
- 緑色 - 100Mbps のファーストイーサネットネットワークに接続
- 赤色 - ネットワークに正しく接続されていない
- 消灯 - ネットワークアクティビティがない

IP アドレスを割り当てる

TCP/IP 環境で通信を確立するには、AXIS 7000/FX に IP アドレスを割り当てる必要があります。また、唯一のホスト名を任意に設定することもできます。

割り当て方法 IP アドレスを割り当てる方法を以下のリストから選択し、後述する適切な手順に進んでください。

方法	環境	説明
コントロールパネル	すべての対応する環境に適しています。	すべての対応するネットワーク環境において、簡単に IP アドレスの設定が行えます。 <i>注意：管理者は、Web ベースの管理者ページを利用して、この機能を無効にすることができます。詳しくは、38 ページ「[ユーザオプション] タブ」を参照してください。</i>
ミニキーボード (オプション)	すべての対応する環境に適しています。	AXIS 7000/FX のミニ DIN コネクタと 101 英語キーボードを接続することにより、素早く、簡単に AXIS 7000/FX の管理が行えます。システムの起動中に、IP アドレスを設定することができます。 <i>注意：管理者は、Web ベースの管理者ページを利用して、この機能を無効にすることができます。詳しくは、38 ページ「[ユーザオプション] タブ」を参照してください。</i>
DHCP	Windows NT、UNIX で利用可能。 Windows NT ネットワークで推奨される方法です。	ネットワーク全体で動作し、サーバ上にプールされている動的アドレスの中から、一時的な IP アドレスを自動で割り当てます。DHCP が有効の場合、選択されたホストは未使用の IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクを、要求を出した AXIS 7000/FX に自動的に割り当てます。IP アドレスの有効期間を示す情報も提供されます。DHCP サーバは各種パラメータを自動的に設定するよう構成されていることから、Windows NT ネットワークでお勧めの方法です。
ARP	Windows 95/98、Windows NT/2000、UNIX、OS/2 で利用可能。 ルータを越えて利用することはできません。	新しいデバイスごとに唯一の IP アドレスを用意し、個々に設定する必要があります。
RARP	UNIX で利用可能。	デバイスごとに自動的に IP アドレスを設定します。システム上で RARP デーモンが実行されている必要があり、単一のネットワークセグメント上でのみ利用することができます。
BOOTP	UNIX で利用可能。	RARP と似ていますが、BOOTP はネットワーク全体で動作します。システム上で BOOTP デーモンが実行されている必要があります。

コントロールパネル 以下の手順したがって、AXIS 7000/FX のコントロールパネルから IP アドレスを設定してください。

注意：

管理者は、Web ベースの管理者ページを利用して、この機能を無効にすることができます。詳しくは、38 ページ「[ユーザオプション] タブ」を参照してください。

1. AXIS 7000/FX の電源を入れます。以下のメッセージが表示されたら、Menu  キーを押します。

```
AXIS 7000/FX
Version: 1.00
```

2. 数秒後、以下のような表示に変わります。

```
IP address:
000.000.000.000
```

3. Select  キーを押して、IP アドレスを編集します。

```
Edit IP address:
000.000.000.000
```

4. Menu  キーを押して数字内を移動し、修正する数字の下にカーソルを表示します。

5. Up/Down   キーを押し、カーソルが表示されている数字の値を、必要に応じて増減します。

6. Select  キーを押して、変更を確定します。

7. Menu  キーを押して、デフォルトゲートウェイを表示します。

```
Default router:
000.000.000.000
```

8. Select  キーを押して、デフォルトゲートウェイを編集します。

```
Edit router:
000.000.000.000
```

9. 値を変更するには、上記の手順 4～6 を繰り返してください。

10. Menu  キーを押して、サブネットマスクを表示します。

```
Net mask:
000.000.000.000
```

11. Select  キーを押して、サブネットマスクを編集します。

```
Edit net mask:
000.000.000.000
```

12. 値を変更するには、上記の手順 4～6 を繰り返してください。
13. Menu  キーを押して、ハードウェアアドレス（物理アドレス）を表示します。ハードウェアアドレスは AXIS 7000/FX の底面ラベルに記載されているシリアル番号と同じであり、編集することはできません。
14. Menu  キーをもう一度押すと、最後の確認画面が表示されます。

```
Press  if you
are finished
```

15. Select  キーを押して、設定を終了します。これで、AXIS 7000/FX の起動シーケンスは完了です。
16. Status インディケータがしばらく点滅した後、点灯に変わり、AXIS 7000/FX が使用可能になります。

注意：

パラメータの編集中に設定を間違えた場合は、コントロールパネルの Cancel キーを押して、操作を取り消します。

ネットワーク設定の 確認

以下の手順にしたがって、AXIS 7000/FX のコントロールパネルから **Advanced menu** にアクセスし、ネットワーク設定を確認します。

1. Menu  キーを押しながら、Select  キーを押します。**Advanced menu** が表示されます。
2. Up/Down   キーを押して、**Network Settings** オプションを表示します。
3. Select  キーを押して、サブメニューに入ります。
4. Up/Down   キーを押して各項目をスクロールし、設定内容を確認します。

キーボードを 利用する

AXIS 7000/FX のミニ DIN コネクタと、101 英語キーボードを直接接続することができます。キーボードを利用すれば、装置の管理や、システム起動時の IP アドレスの設定など、手早く、簡単に行うことができます。以下の手順にしたがって、キーボードから IP アドレスを設定してください。

注意：

管理者は、Web ベースの管理者ページを利用して、この機能を無効にすることができます。詳しくは、38 ページ「[ユーザオプション] タブ」を参照してください。

1. 以下のキー操作は、AXIS 7000/FX の起動時にキーボードを利用して IP アドレスを設定するためのものです。キーボードが接続されていない場合は、AXIS 7000/FX の外部電源を取り外してから、バックパネルにあるミニ DIN コネクタとキーボードを接続してください。

AXIS 7000/FX と外部電源を接続します。以下のメッセージが表示されたら、キーボードの **Tab** キーを押します。

```
AXIS 7000/FX  
Version 1.00
```

2. 数秒後、以下のメッセージが表示されます。

```
IP address:  
000.000.000.000
```

3. **Enter** キーを押して、IP アドレスを編集します。

```
Edit IP address:  
000.000.000.000
```

4. IP アドレスの入力には、以下のキーを利用してください。
 - **数値**キーを押して、値を入力します。
 - **左**または**右矢印**キーを押して、編集する値に移動します。
 - **Backspace** キーを押して、現在選択されている値を **0** に戻し、前の値に移動します。
 - **Space** キーを押して、次の値（3 桁のグループ）に移動します。
 - **Home** または **End** キーを押して、値の先頭または最後に移動します。
 - **Enter** キーを押して設定を保存し、終了します。
 - **Esc** キーを押して、操作を取り消します。

上記のキーを利用して、デフォルトゲートウェイおよびサブネットマスクの編集を行うことができます。

DHCP、ARP、RARP、BOOTP を利用する

AXIS 7000/FX のコントロールパネルやキーボードの代わりに、DHCP、ARP、RARP または BOOTP を利用して IP アドレスを設定することができます。利用する方法を選択し、対応する手順にしたがって IP アドレスを設定してください。

重要！

AXIS 7000/FX をインストールする際、下記の例に上げられている IP アドレスをそのまま使用しないでください。

始める前に

- 電源 - AXIS 7000/FX の電源が入っていること、ネットワークに正しく接続されていることを確認します。
- 管理者権限 - Windows NT サーバでは Administrator、UNIX システムでは root の権限が必要です。
- 物理アドレス - 利用する方法によって、AXIS 7000/FX の物理アドレスを知っている必要があります。物理アドレスは AXIS 7000/FX のシリアル番号を基にしており、本体の底面ラベルに記載されています。
- IP アドレス - ネットワーク管理者から、未使用の IP アドレスを入手します。

DHCP を利用する 以下の手順にしたがって、DHCP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. DHCP マネージャでスコープを編集、または作成します。手順について詳しくは、『Windows NT Server 4.0 リソースキット』を参照してください。通常、このスコープには以下のパラメータが含まれます。
 - IP アドレスの範囲
 - サブネットマスク
 - デフォルトゲートウェイの IP アドレス
 - リース期間
 - メールサーバの IP アドレス
 - DNS サーバの IP アドレス
 - ドメイン名
 - NTP サーバの IP アドレス
2. スコープをアクティブにします。

注意：

- DHCP はデフォルトで有効になっています。管理者は [詳細設定] - [プロトコル] ウィンドウの [TCP/IP] タブでこの機能を無効にすることができます。
- IP アドレスおよびその他のすべての設定は、自動的に設定されます。AXIS 7000/FX を再起動する必要はありません。

Windows で ARP を
利用する

Windows 95、Windows 98、Windows NT、および Windows 2000 では、ARP を利用して IP アドレスを設定することができます。以下のコマンドを実行して IP アドレスの設定を行い、通信が確立されているか確認します。

DOS 窓 (MS-DOS プロンプト / コマンドプロンプト) を開き、以下のコマンドを実行します。ホスト IP アドレスは、お使いのコンピュータの IP アドレスです。

```
arp -s AXIS 7000/FX の IP アドレス 物理アドレス ホスト IP アドレス
ping AXIS 7000/FX の IP アドレス
arp -d AXIS 7000/FX の IP アドレス
```

物理アドレスは、AXIS 7000/FX のシリアル番号と同じです。数字の各組はハイフン (-) で区切ります。

例 :

```
arp -s 192.168.0.80 00-40-8c-11-00-86 192.168.0.75
ping 192.168.0.80
arp -d 192.168.0.80
```

ホストは、Reply from 192.168.0.80... のようなメッセージを返します。これで、IP アドレスが設定され、通信が確立したことが分かります。

注意 :

- 適切な IP アドレスを利用し、いったん AXIS 7000/FX との通信が確立すると、arp/ping コマンドを利用して IP アドレスの変更ができなくなります。これは、IP アドレスの不注意による変更、また不正な変更を避けるためのものです。ただし、AXIS 7000/FX を再起動した直後であれば、また arp/ping コマンドを利用して IP アドレスの設定を行うことができます。AXIS 7000/FX の内部 Web ページを利用して、リモートで再起動を実行することができます。詳しくは、36 ページ「システムの設定を行う」を参照してください。
- 初めて ping コマンドを実行する場合、反応があるまでに通常よりも長い時間がかかることがあります。
- arp -d コマンドを利用することにより、Windows のキャッシュメモリから ARP テーブルの static エントリが削除されます。

UNIX および OS/2 で
ARP を利用する

UNIX および OS/2 では、以下のコマンドを実行して IP アドレスの設定および通信の確立を確認します。

```
arp -s ホスト名 物理アドレス temp
ping ホスト名
```

物理アドレスは、AXIS 7000/FX のシリアル番号と同じです。数字の各組は、コロン (:) で区切ります。

例：

```
arp -s spserv 00:40:8c:11:00:86 temp
ping spserv
```

ホストは、spserv is alive のようなメッセージを返します。これで、IP アドレスが設定され、通信が確立したことが分かります。

注意：

- arp -s コマンドの書式は、システムによって異なります。一部の BSD 系のシステムでは、ホスト名と物理アドレスの順番を逆にする必要があります。IBM AIX システムでは、イーサネットネットワークに対して追加の引数、ether が必要です。

例：arp -s ether spserv 00:40:8c:11:00:86 temp

- 適切な IP アドレスを利用し、いったん AXIS 7000/FX との通信が確立すると、arp/ping コマンドを利用して IP アドレスの変更ができなくなります。これは、IP アドレスの不注意による変更、また不正な変更を避けるためのものです。ただし、AXIS 7000/FX を再起動した直後であれば、また arp/ping コマンドを利用して IP アドレスの設定を行うことができます。AXIS 7000/FX の内部 Web ページを利用して、リモートで再起動を実行することができます。詳しくは、36 ページ「システムの設定を行う」を参照してください。
- 初めて ping コマンドを実行する場合、反応があるまでに通常よりも長い時間がかかることがあります。

**UNIX で RARP を
利用する**

RARP を利用して IP アドレスを設定するには、以下の手順にしたがってください。

1. 物理アドレステーブルに、以下の行を追加します。通常、/etc/ethers ファイルを編集して行います。

```
物理アドレス ホスト名
```

例：

```
00:40:8c:24:c0:1c spserv
```

2. 必要に応じて、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
3. まだ動作していない場合は、RARP デーモンを起動します。通常、RARP デーモンは rarpd -a コマンドを利用して実行します。
4. AXIS 7000/FX を再起動し、IP アドレスを設定します。詳しくは、36 ページ「システムの設定を行う」を参照してください。

注意：

RARP はデフォルトで有効になっていますが、管理者は [詳細設定] - [プロトコル] ウィンドウの [TCP/IP] タブでこの機能を無効にすることができます。

UNIX で BOOTP を 利用する

BOOTP を利用して IP アドレスを設定するには、以下の手順にしたがってください。

1. お使いのシステムのブートテーブルに、以下の行を追加します。通常、`/etc/bootptab` ファイルを編集して行います。

```
ホスト名 :ht= ハードウェアタイプ :vm= ベンダマジック :\
:ha= ハードウェアアドレス :ip=IP アドレス :\
:sm= サブネットマスク :gw= ゲートウェイフィールド
```

各フィールドには以下の値を使用します。

```
ht   = ether
vm   = rfc1048
ha   = AXIS 7000/FX の物理アドレス
ip   = AXIS 7000/FX の IP アドレス
sm   = サブネットマスク
gw   = デフォルトゲートウェイ
```

例 :

```
spserv:ht=ether:vm=rfc1048:\
:ha=00408c24c01c:ip=192.168.0.80:\
:sm=255.255.255.0:gw=192.168.0.254
```

2. 必要に応じて、お使いのシステムのホストテーブルやネーミングサービスのデータベースを更新します。
3. まだ動作していない場合は、BOOTP デーモンを起動します。通常、BOOTP デーモンは `bootp -a` コマンドを利用して実行します。
4. AXIS 7000/FX を再起動し、IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクを設定します。詳しくは、36 ページ「システムの設定を行う」を参照してください。

注意 :

RARP はデフォルトで有効になっていますが、管理者は [詳細設定] - [プロトコル] ウィンドウの [TCP/IP] タブでこの機能を無効にすることができます。

IP アドレスにホスト名を関連付ける

ホスト名を利用している場合は、取得した IP アドレスに唯一のホスト名を関連付けることができます。お使いのシステム上で名前の関連付けを行うには、お使いのシステムのマニュアルを参照するか、ネットワーク管理者に相談してください。

注意：

お使いのシステムのホストテーブルにホスト名が含まれていない場合でも、22 ページ「IP アドレスを割り当てる」以降の手順を利用して IP アドレスの設定が行えます。このような場合は、必要に応じてホスト名のエントリを IP アドレスに置き換えてください。

インストール結果を確認する

インストールが正しく行われた後、AXIS 7000/FX は接続されているデジタル複写機 / スキャナを検出し、その製品名を表示します。対応していない読み取り機器の場合、エラーメッセージが表示されます。

送信先がまだ定義されていない場合は、AXIS 7000/FX は以下のメッセージを表示します。

Connect using
Web browser

一つ以上の送信先が定義されている場合は、AXIS 7000/FX は以下のメッセージを表示します。

Send to:
xxxxxxx

「xxxxxxx」には、送信先リストの先頭にある送信先が表示されません。

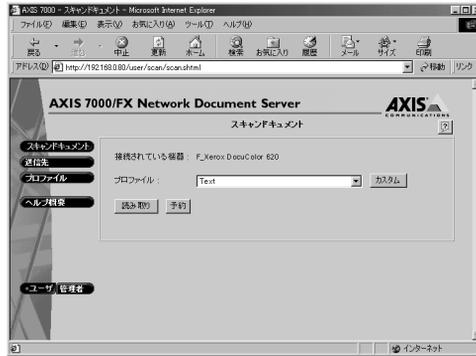
通信の状態を確認するには、Netscape Navigator およびインターネットエクスプローラなどの標準的な Web ブラウザを利用して、AXIS 7000/FX にアクセスします。

1. デジタル複写機 / スキャナにドキュメントをセットします。
2. Web ブラウザを起動します。
3. Web ブラウザの [場所 / アドレス] フィールドに、AXIS 7000/FX のホスト名または IP アドレスを入力します。

例：

http://192.168.0.80/

4. AXIS 7000/FX のホームページ、[スキャンドキュメント]ページが表示されます。[読み取り]をクリックし、読み取りを開始します。プロファイルで指定されたイメージフォーマットにしたがって、Web ブラウザは対応するイメージビューワで読み取ったイメージを表示するか、イメージを保存するようメッセージを表示します。



第 4 章 AXIS 7000/FX を設定する

この章は、主に AXIS 7000/FX の管理を行うユーザを対象としています。管理者には、一般ユーザには認められていない権限が与えられます。

重要！

AXIS 7000/FX の設定ファイルにアクセスするには、まず最初に AXIS 7000/FX に IP アドレスを設定する必要があります。詳しくは、22 ページ「IP アドレスを割り当てる」を参照してください。

Netscape Navigator やインターネットエクスプローラなどの標準的な Web ブラウザを利用して、AXIS 7000/FX の設定を行います。

また、設定ファイルをテキストエディタで編集し、FTP を利用して AXIS 7000/FX にアップロードすることもできます。

重要！

AXIS 7000/FX を利用してネットワーク上でドキュメントの配布を行う前に、管理者は以下の設定を行う必要があります。

- ネットワーク設定 - TCP/IP、SMTP プロトコル等のパラメータを定義する。
- 送信先 - ドキュメントを送信する電子メールアドレス、ファイルサーバ、プリンタを指定する。

オプションとして、管理者は以下の設定を変更することができます。

- システム設定 - システム情報、管理者用パスワード、言語、ユーザの権限など。
- プロファイル
- 用紙サイズ

管理ツールの概要

AXIS 7000/FX の内部 Web ページには、オンラインヘルプ  が用意されています。各ページの設定項目に関連したヘルプが表示されますので、設定中に疑問が生じた場合には、まずオンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、AXIS 7000/FX の内部に保存されています。

Web ベースの管理ツールを利用すれば、送信先、プロフィール、ネットワークプロトコルの定義、ユーザに許可する機能などの設定を簡単に行うことができます。管理ツールはパスワードで保護されており、利用できるのは管理者だけになっています。

管理ツールに アクセスする

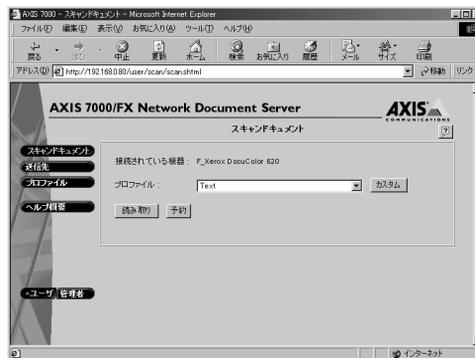
Netscape Navigator やインターネットエクスプローラなどの標準的な Web ブラウザを利用して、AXIS 7000/FX のホームページにアクセスします。

1. Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの [場所/アドレス] フィールドに、AXIS 7000/FX のホスト名または IP アドレスを入力します。

例：

http://192.168.0.80/

3. AXIS 7000/FX のホームページ、[スキャンドキュメント] ページが表示されます。



4. [管理者] ボタンをクリックします。

ネットワークパスワードの入力

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: 192.168.0.00

領域: 192.168.0.00

ユーザー名(U): root

パスワード(P): ****

このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

Webブラウザを利用して初めて管理者ページにアクセスした場合、ユーザ名とパスワードを入力するダイアログボックスが表示されます。ユーザ名に root (管理者)、パスワードにデフォルトの pass を入力してログインします。

注意：

すべての Axis 製品は、デフォルトで同じパスワードを使用して出荷されています。ご利用の AXIS 7000/FX のパスワードは、できるだけ早く変更することをお勧めします。

5. [AXIS 7000/FX] ページが表示されます。

AXIS 7000/FX Network Document Server

AXIS 7000/FX

サーバパスワード: *****

日付と時刻: 2000-09-08 09:57
タイムゾーン: UTC
時刻同期のソース: なし

コントロールパネル言語: U.S. English
キーボードレイアウト: U.S. English
長さの単位: Centimeters

ユーザが実行可能な作業

- 電子メールへの一時的な送信先の追加
- 一時的な読み取りプロフィールの追加
- Webブラウザに読み取ったイメージを送信
- 読み取ったイメージの差出人を指定
- コントロールパネルからのネットワーク設定

編集

ファームウェアバージョン: 1.00 ハードウェアアドレス: 00:40:8c:43:96:6a
ネットワーク速度: 10 Mbps サーバ稼働時間: 2d 23h 52m 53s
メモリサイズ: 16 MB 外部キーボード: 接続

設定一覧 対応する機器
サーバを再起動 デフォルトの設定に戻す

管理者は、このページからシステム設定の変更を行うことができます。Web ページの左側に表示されているボタンを利用して、他の管理ツールにアクセスしてください。

システムの設定を行う

[AXIS 7000/FX] ボタンをクリックし、ファームウェアバージョン、ハードウェアアドレス（物理アドレス）、メモリサイズ、現在のシステム設定を表示します。

重要！

最初に AXIS 7000/FX をインストールした時は、管理者はデフォルトのシステム設定、プロファイル、用紙サイズなどの設定をそのままにしておくことをお勧めします。製品の操作や機能をよく理解されてから、これらの設定を任意に変更してください。

サービスの概要 このページに含まれる情報やサービスの概要を、以下の表に示します。

ボタン	説明
編集	サーバパスワード、日付と時刻、ユーザに許可する機能を選択するオプション、使用する単位などの変更を行います。詳しくは、次ページの「編集ボタン」を参照してください。
設定一覧	Config.ini ファイルに含まれる現在のパラメータ設定を表示します。
サーバを再起動	AXIS 7000/FX を再起動します。自動的に読み込まれていた一時的な送信先やプロファイルが、メモリから消去されます。
デフォルトの設定に戻す	AXIS 7000/FX を工場出荷時のデフォルト設定に戻し、自動的に再起動します。自動的に読み込まれていたすべての送信先が、メモリから消去されます。
対応する機器	AXIS 7000/FX が対応している読み取り機器のリストを表示します。

[編集] ボタン [編集] ボタンをクリックし、[AXIS 7000/FX の編集] ウィンドウを表示します。一般、日付と時刻、ユーザオプション、環境から適切なタブをクリックすると、以下に示すような情報が表示されます。

[一般] タブ **サーバパスワードとパスワードの入力確認**

管理者用のパスワードで、AXIS 7000/FX の管理者ページにアクセスする際に要求されます。

パスワードを変更するには、[サーバパスワード] フィールドに新しいパスワードを入力してください。確認のため、[パスワードの入力確認] フィールドに、再度新しいパスワードを入力してください。

注意：

- すべての Axis 製品は、デフォルトで同じパスワードを使用して出荷されています。ご利用の AXIS 7000/FX のパスワードは、できるだけ早く変更することをお勧めします。
- サーバパスワードを忘れてしまった場合は、AXIS 7000/FX を工場出荷時のデフォルト設定に戻す必要があります。詳しくは、85 ページ「工場出荷時のデフォルト設定に戻す」を参照してください。
- [AXIS 7000/FX] ページの [サーバパスワード] フィールドには、パスワードを構成する英数字の変わりに「*」が表示されます。

[日付と時刻] タブ 時刻同期を行う場合は、AXIS 7000/FX が稼動しているタイムゾーンを指定します。UTC (Universal Time Coordinated) は、かつて GMT (Greenwich Mean Time) として知られていたものです (グリニッジを通る子午線が 0 度)。「No_DST」は、DST (Daylights Savings Time) の自動調整が含まれていないという意味です。ただし、各国固有のタイムゾーンには、DST の調整が含まれます。

AXIS 7000/FX は、内蔵のリアルタイムクロックを備えています。外部電源が取り外された場合でも、リアルタイムクロックに付属の予備電源を利用して時刻を保持します。

NTP (Network Time Protocol) を自動的に使用

時刻同期のプロトコルを利用して日付および時刻情報を取得するには、このオプションを選択します。イベントログにはタイムスタンプが使用されます。

NTP サーバ

時刻同期に利用する NTP サーバのホスト名と IP アドレスを指定します。

手動

日付および時刻を手動で設定する場合は、このオプションを選択します。

[ユーザオプション] タブ

[ユーザが実行可能な作業:] フィールドを利用して、管理者はユーザに与える権限を定義します。各オプションのチェックボックスで、ユーザの実行を許可するオプションのチェックをオンにします。

- 電子メールへの一時的な送信先の追加
- 一時的な読み取りプロファイルの追加
- Web ブラウザに読み取ったイメージを送信
- 読み取ったイメージの差出人を指定
- コントロールパネルからのネットワーク設定
(キーボードからのネットワーク設定)

注意:

- [読み取ったイメージの差出人を指定] 以外のオプションは、デフォルトですべて有効になっています。
- AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用し、ユーザは IP アドレスの変更を行うことができます。
- [コントロールパネルからのネットワーク設定] を無効にすると、キーボードを利用した IP アドレスなどの設定も行えなくなります。

[環境] タブ 管理者は、以下の選択を行うことができます。

- AXIS 7000/FX のコントロールパネルに表示する言語を選択 - 英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語に対応。
- 外部キーボードに対応したレイアウトを選択。
- 定義済み用紙サイズを表示する時に利用する長さの単位を選択 - センチメートルまたはインチ。

注意:

- デフォルトでは、コントロールパネルに表示する言語は英語、長さの単位はセンチメートルに設定されています。
- 新しい言語を選択した場合、プロファイル名のリストの表示を変更するには一度 [プロファイル] ページに戻り、[デフォルトのプロファイルに戻す] ボタンをクリックする必要があります。この変更は、[用紙サイズ] ページにも反映されます。

注意: [デフォルトのプロファイルに戻す] ボタンをクリックすると、定義済みプロファイルに対して行われた変更、およびユーザ定義のプロファイルはすべて失われます。

ネットワークの設定を行う

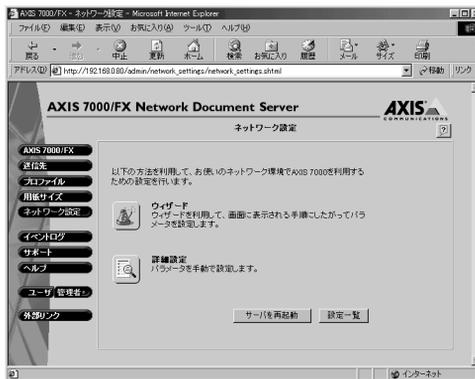
Web ページ左側にある [ネットワーク設定] ボタンをクリックし、[ネットワーク設定] ページを表示します。このページから、対応するすべてのプロトコルの設定パラメータの確認および変更を行います。

- **TCP/IP** - IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、自動的に IP アドレスの設定を行う機能 (BOOTP、RARP または DHCP) の有効 / 無効の切り替え、ドメイン名、DNS サーバの設定。

注意：

AXIS 7000/FX のコントロールパネル、DHCP、または BOOTP を利用して IP アドレスを設定している場合、ネットワークの設定は自動的に行われます。ネットワークの初期設定がどのように行われたか、Web ブラウザを利用して確認することをお勧めします。

- **Web (HTTP)** - ページまたはイメージへの参照となる外部リンクの設定。
- **電子メール (SMTP)** - IP アドレス、プライマリおよびセカンダリ電子メールサーバの DNS 名、接続までの待ち時間、電子メールの返信アドレスを定義。
- **外部アドレス帳 (FTP)** - 自動的に取り込まれ、AXIS 7000/FX にダウンロードされる FTP サーバ上の送信先リストの定義。



注意：

LDAP 経由で外部アドレス帳を利用するオプションは、日本では対応していません。

サービスの概要

このページに含まれる情報やサービスの概要を、以下の表に示します。

ボタン	説明
ウィザード	TCP/IP、電子メール (SMTP)、外部アドレス帳 (FTP) の各プロトコルの設定を、手順を追って行います。 注意：ウィザードの一連の作業で、すべてのプロトコルの設定を一度に行うことはできません。1種類のプロトコルの設定が終了したら [ネットワーク設定] ページに戻り、別のプロトコルの設定を行います。
詳細設定	対応するプロトコルごとにタブを表示します。設定を行うプロトコルのタブを選択し、追加・変更を行います。
サーバを再起動	AXIS 7000/FX を再起動します。電源の投入時およびセルフテスト中、Status インディケータが点滅します。Status インディケータが点灯し、Network インディケータが点滅してネットワークアクティビティを示します。AXIS 7000/FX が使用可能になり、新しい設定を行うことができます。 注意：[サーバを再起動] ボタンをクリックすると、一時的な送信先およびプロファイルは、すべて削除されます。
設定一覧	設定ファイルに含まれる、現在のパラメータを表示します。

ウィザードを利用する

ウィザードを利用すると、お使いのネットワークで簡単に AXIS 7000/FX を設定することができます。以下の手順にしたがって、対応するネットワークプロトコルを設定してください。

重要！

- AXIS 7000/FX を利用してネットワーク上でドキュメントの配布を行う前に、管理者は TCP/IP および SMTP プロトコル等の設定を行う必要があります。また、外部アドレス帳を利用して、FTP サーバに保存されている電子メールアドレスのリストを自動的に取り込むこともできます。
- 他のネットワーク上のデバイスとの競合を避けるために、管理者から未使用の IP アドレスを入手してください。

1. [ネットワーク設定] ボタンをクリックします。
2. [ウィザード]  ボタンをクリックします。利用するネットワークプロトコルを選択し、画面の手順にしたがって設定を完了します。
3. [詳細設定] ボタンをクリックし、設定した内容を確認します。

注意：

ウィザードは、一連の設定手順で 1 種類のプロトコルの設定が行えます。たとえば、TCP/IP の設定の後で SMTP および FTP の設定を行う場合は、再度ウィザードを起動する必要があります。

4. [OK] をクリックして [プロトコル] ウィンドウを閉じます。

[詳細設定] ボタン 以下の手順にしたがって、[詳細設定] ボタンを利用して対応するネットワークプロトコルの設定を行ってください。

重要！

- AXIS 7000/FX を利用してネットワーク上でドキュメントの配布を行う前に、管理者は TCP/IP および SMTP プロトコル等の設定を行う必要があります。また、外部アドレス帳を利用して、FTP サーバに保存されている電子メールアドレスのリストを自動的に取り込むこともできます。
- 他のネットワーク上のデバイスとの競合を避けるために、管理者から未使用の IP アドレスを入手してください。
- AXIS 7000/FX の内部 Web ページには、オンラインヘルプ  が用意されています。各ページの設定項目に関連したヘルプが表示されますので、設定中に疑問が生じた場合には、まずオンラインヘルプを参照してください。

1. [ネットワーク設定] ボタンをクリックします。
2. [詳細設定]  ボタンをクリックし、プロトコルのタブを表示します。
3. 42 ページ「サービスの概要」およびオンラインヘルプを参考に、利用するプロトコルのタブをクリックし、内容の確認および変更を行います。
 - [適用] ボタンをクリックすると、[プロトコル] ウィンドウを開いたまま変更を保存します。
 - [OK] ボタンをクリックすると、変更を保存して [プロトコル] ウィンドウを閉じます。

サービスの概要 対応するプロトコル設定の概要を、以下の表に示します。

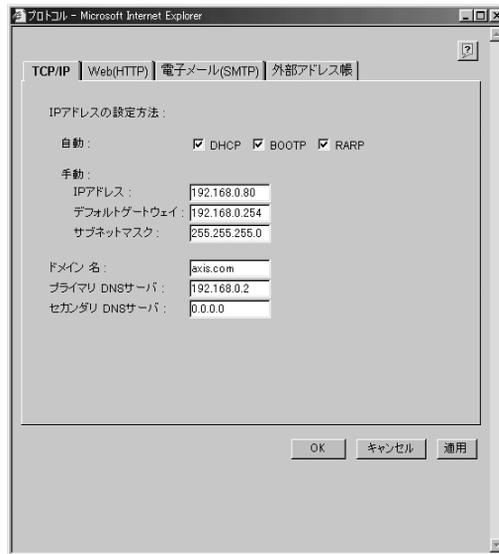
プロトコル	説明
TCP/IP	IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、自動的に IP アドレスの設定を行う機能 (BOOTP、RARP または DHCP) の有効 / 無効の切り替え、ドメイン名、DNS サーバの設定。
Web (HTTP)	ページまたはイメージへの参照となる外部リンクの設定。
電子メール (SMTP)	IP アドレス、プライマリおよびセカンダリ電子メールサーバの DNS 名、接続までの待ち時間、電子メールの返信アドレスを定義。
外部アドレス帳 (FTP)	FTP サーバ上の送信先リストを定義。

注意：

AXIS 7000/FX の設定パラメータについて詳しくは、93 ページ「付録 B パラメータリスト」を参照してください。

TCP/IP の設定 以下の手順にしたがって、TCP/IP の設定を行ってください。

1. [プロトコル] ウィンドウを開き、[TCP/IP] タブをクリックします。



2. 適切なチェックボックスのチェックをオンにして、IP アドレスを自動的に割り当てる方法を DHCP、BOOTP、RARP から選択します。詳しくは、22 ページ「IP アドレスを割り当てる」を参照してください。

注意：

- DHCP、BOOTP または RARP が有効になっている場合、AXIS 7000/FX を再起動した時に手動で設定した IP アドレスが上書きされることがあります。
- ネットワークの設定により、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、メールサーバ、NTP サーバなど、インターネットに関連したパラメータも自動的に設定されることがあります。AXIS 7000/FX を再起動した時は、設定された内容を確認し、不足しているパラメータを手動で入力することをお勧めします。

3. AXIS 7000/FX の IP アドレスを入力します。

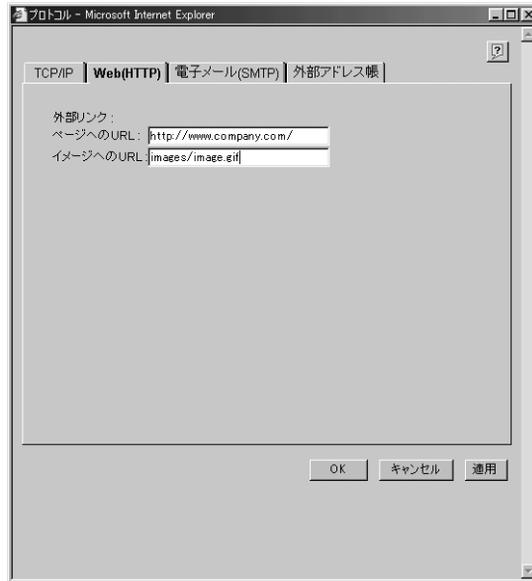
例：192.168.0.80

注意：

- IP アドレスを変更した時は、新しい IP アドレスを利用して再度 HTTP 接続を確立してください。
- AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して、IP アドレスを設定することもできます。詳しくは、22 ページ「IP アドレスを割り当てる」を参照してください。

4. デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。ローカルネットワーク（サブネットマスクに基づく）の外に向けられたすべてのトラフィックは、デフォルトゲートウェイに送られます。他のルータを経由した再ルーティングは、自動的に行われます。この設定を 0.0.0.0 とした場合、デフォルトゲートウェイは設定されていないことになります。
5. データトラフィックがルータを経由する場合は、サブネットマスクを利用します。サブネットマスクと IP アドレスを利用することにより、ネットワーク上の AXIS 7000/FX の位置を特定します。たとえば、クラス C のサブネットマスクは通常 255.255.255.0 です。設定を 0.0.0.0 とした場合、自動でルータを検出します。
6. AXIS 7000/FX が属するドメイン名を指定します。ドメインとは、ネットワーク上のコンピュータの集まりに対し、グループ名を割り当てたものです。一つのドメインには、2 つ以上のワークグループが含まれる場合があります。
7. プライマリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。DNS (Domain Name System) サーバは、IP アドレスの代わりにホスト名を利用してコンピュータを認識するために利用します。
8. セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。プライマリ DNS サーバが未接続、または利用できない場合にセカンダリ DNS サーバが利用されます。

Web (HTTP) の設定 [プロトコル] ウィンドウを開き、[Web (HTTP)] タブをクリックします。AXIS 7000/FX の Web ページに、カスタマイズしたリンクを追加します。



- **ページへの URL** - 独自のリンクを AXIS 7000/FX の Web ページに追加できます。たとえば、AXIS 7000/FX のガイドラインや使用方法を載せたページへのフルパスを指定します。

例：http://www.company.com/
- **イメージへの URL** - 独自のリンクのボタンとして利用するイメージへのフルパスを指定します。

例：http://www.company.com/images/image.gif

または、ページの URL からの相対パスを指定します。

例：images/image.gif

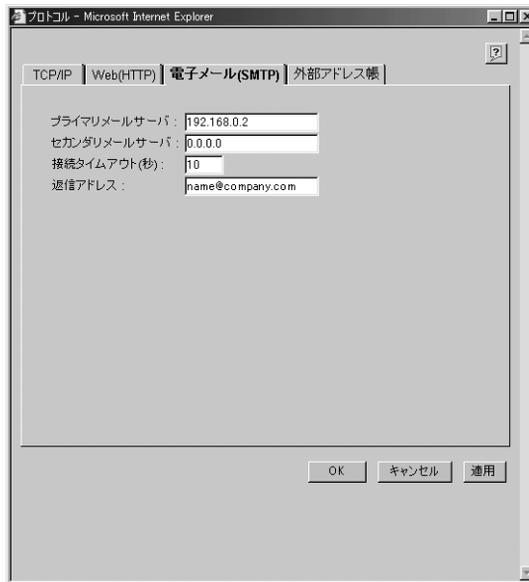
注意：

[イメージへの URL] フィールドで利用できるイメージの幅は、最大で 117 ピクセルです。標準のイメージ（ボタン）を利用する場合は、このフィールドは空欄にしてください。

電子メール (SMTP) の設定 AXIS 7000/FX を利用して複製したドキュメントをネットワーク上に配信する前に、管理者は電子メール (SMTP) の設定を行う必要があります。

以下の手順にしたがって、電子メール (SMTP) プロトコルの設定をしてください。

1. [プロトコル] ウィンドウを開き、[電子メール (SMTP)] タブをクリックします。



2. プライマリメールサーバの名前または IP アドレスを指定します。
例：mail、mail.domain.com、192.168.0.2
3. 任意で、セカンダリメールサーバの名前または IP アドレスを指定します。プライマリメールサーバが未接続、または利用できない場合、セカンダリメールサーバが利用されます。
4. [接続タイムアウト (秒)] フィールドに、時間を設定します。これは、電子メール (SMTP) サーバに接続する際、タイムアウトが発生するまで AXIS 7000/FX が待機する時間を指定します。有効な値は、5 ～ 65535 秒です。
5. [返信アドレス] フィールドに電子メールアドレスを入力すると、電子メールへの送信先にイメージを送信する時に、このアドレスがデフォルトの差出人として利用されます。

注意：

- 読み取りの際に、ユーザは別の差出人を指定することができます。ただし、管理者が [AXIS 7000/FX] - [編集] - [ユーザオプション] タブの、[読み取ったイメージの差出人を指定] チェックボックスをオフにしている場合は、ユーザは差出人を指定することはできません。
- スпамフィルタによるメール受信の拒否を避けるために、AXIS 7000/FX に有効な SMTP 返信アドレスが設定されていることを確認してください。
- AXIS 7000/FX からの電子メールを受信できるようにするには、メールサーバ上で AXIS 7000/FX のホスト名または IP アドレスを設定する必要がある場合があります。

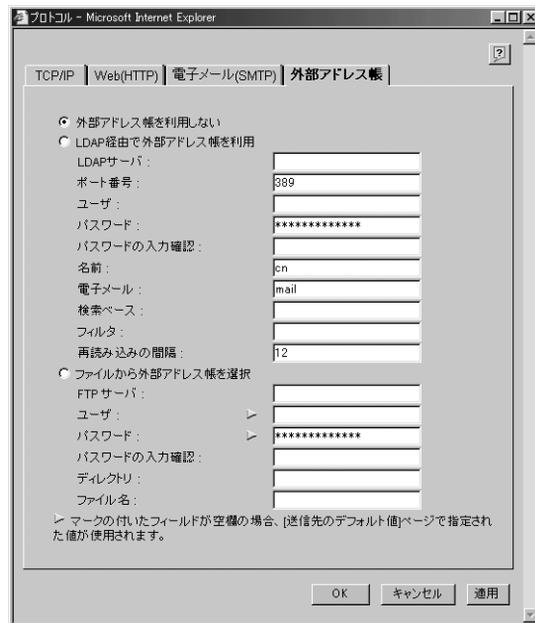
外部アドレス帳 送信先のアドレス帳は、FTP サーバ上の指定したファイルから検索することができます。また、アドレス帳から送信先を検索しないよう選択することもできます。

注意：

LDAP 経由で外部アドレス帳を利用するオプションは、日本では対応していません。

以下の手順にしたがって、外部アドレス帳の設定を行ってください。

1. [プロトコル] ウィンドウを開き、[外部アドレス帳] タブをクリックします。



選択できるオプションは、以下の通りです。

- **外部アドレス帳を利用しない**-外部アドレス帳の検索を行わない場合は、このオプションを選択します。
- **ファイルから外部アドレス帳を選択**-FTPサーバ上のファイルから外部アドレスを読み取る場合は、このオプションを選択します。

FTP サーバ - FTP サーバの名前または IP アドレスを指定します。

ユーザ - FTP サーバにログインする際のユーザ名を指定します。空欄の場合は、[送信先のデフォルト値] ページで指定されたユーザ名とパスワードが使用されます。

パスワード - FTPサーバにログインする際のパスワードを指定します。空欄の場合、この設定は無視されます。

パスワードの入力確認 - パスワードが正しく入力されているか、確認します。

ディレクトリ - ファイルが保存されている、FTP サーバ上のディレクトリを指定します。空欄の場合、FTP サーバのルートディレクトリが使用されます。

例： /pub/axis7000_fx/address

ファイル名 - ファイルの名前を指定します。ファイルは、以下の構文を適用したテキストファイルでなければなりません。

[Destination- 送信先名]

Description	=送信先名
Transfer method	=Scan-to-e-mail (SMTP)/ Scan-to-URL (SMTP & FTP)/ Scan-to-file (FTP)/ Scan-to-print (LPD)/ Scan-to-print (TCP/IP)
Destination	=電子メールアドレス/ディレクトリ =プリンタキュー/ポート
Information level	=Nothing/Basic/Complete
Profile	=読み取りプロファイル名
Server	=FTP サーバ名 =LPD サーバ名 =プリンタ名
User	=ユーザ名
Password	=パスワード
File name	=ファイル名
Index file	=Yes/No
Resolutions	=75 100 150 200 300 600 1200
Paper sizes	=Executive Letter Legal Ledger A4 A3
Duplex supported	=Yes/No
Duplex selection	=SingleSided/DoubleSided/AsScanned
LPD mode	=SingleDataFile/SplitSourceFile/ BufferDataFiles/MultipleDataFiles

Password、File name、Index file フィールドは、ファイルへの送信先のみ適用されます。Server および User フィールドは、ファイルおよびプリンタへの送信先に適用されます。

Resolutions、Paper sizes、Duplex supported、Duplex selection、LPD mode フィールドは、プリンタへの送信先にのみ適用されます。

Description、Transfer method、および Destination フィールドは、すべての送信先で必須の項目です。ファイルおよびプリンタへの送信先では、Server フィールドも必須の項目です。他のフィールドが省略された場合、デフォルト値が使用されます。ほとんどの場合、フィールドのデフォルト値は [送信先のデフォルト値] ページで定義されています。

見本として、適当な転送方法を選択して新しい送信先を作成し、config.ini ファイルの内容を確認してみてください。

注意：

- 外部電子メールアドレスは、既存の送信先と一緒にアルファベット順で並び替えられ、AXIS 7000/FX のコントロールパネル上に表示されます。
- イベントログには、FTP を経由して電子メールアドレスがいくつか取り込まれたか、表示されます。

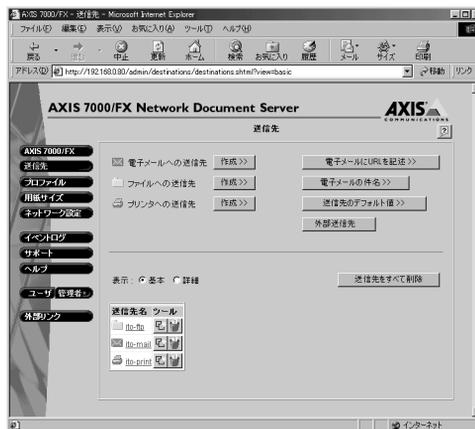
送信先を指定する

送信先は、AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して読み取ったイメージを送信するのに使用します。以下のいずれかの方法を利用して、送信先を定義します。

- 電子メールアドレス 
- FTP サーバ上のファイルへのハイパーリンク 
- FTP サーバ上のファイル 
- プリンタ 

Web ページの左側にある [送信先] ボタンをクリックし、[送信先] ページを表示します。このページから、以下の確認および設定を行います。

- 現在利用できる電子メール、ファイル、プリンタへの送信先リスト
- 既存の送信先の編集、新しい送信先の作成
- 既存の送信先のコピーの作成
- 送信先の削除



サービスの概要

このページに含まれる情報やサービスの概要を、以下の表に示します。

ボタン	説明
電子メールへの送信先 : 作成 >>	新しい電子メールへの送信先を作成します。
ファイルへの送信先 : 作成 >>	新しいファイルへの送信先を作成します。
プリンタへの送信先 : 作成 >>	新しいプリンタへの送信先を作成します。
電子メールに URL を記述 >>	電子メールへの送信先に、ハイパーリンクとして送られたイメージの保存先を定義します。
電子メールの件名 >>	電子メールへの送信先に送信する時、件名フィールドに表示するテキストを定義します。 注意:ASCIIコードの文字のみ利用可能。
送信先のデフォルト値 >>	各送信先のデフォルトパラメータを表示します。たとえば、関連するプロファイルや転送の種類などです。 注意:この設定を編集すると、デフォルト設定を利用した送信先の値が自動的に変更されます。
外部送信先	外部の送信先を表示します。送信先は、FTP サーバ上に保存されている外部アドレス帳と同じ構文を利用して表示されます。詳しくは、[ネットワーク設定] - [詳細設定] - [プロトコル] ウィンドウを参照してください。
送信先をすべて削除	リストからすべての送信先を削除します。

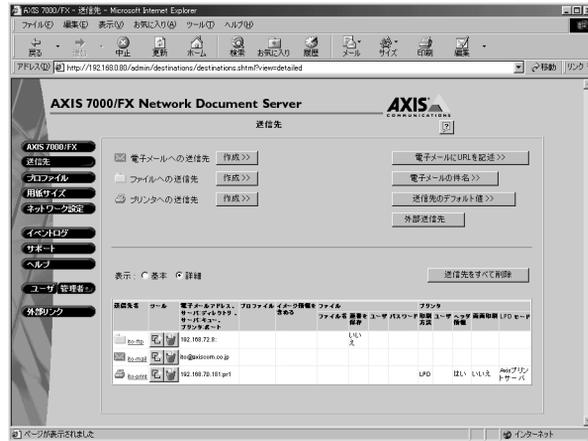
電子メールへの送信先の作成と編集

電子メールへの送信先を利用すれば、ユーザは読み取ったイメージをSMTPプロトコルを利用して電子メールで送信することができます。

以下の手順にしたがって、新しい電子メールへの送信先の作成および既存の送信先の編集を行ってください。

1. Web ページ左側の [送信先] ボタンをクリックします。

- 既に追加されている電子メール、ファイル、プリンタへの送信先がリストに表示されます。[表示] フィールドの [詳細] オプションをクリックし、詳細設定を表示します。



- 既存の送信先を編集するには、任意の送信先名のリンクをクリックし、手順 5 に進んでください。
- 電子メールへの送信先：[作成 >>] ボタンをクリックし、新しい送信先をリストに追加します。
- [送信先名] フィールドに、分かりやすい電子メールへの送信先名を指定します。この名前が、[送信先] リストに表示されます。

注意：

送信先名は、40 文字以下（ASCII コード）で入力してください。

- [電子メールアドレス] フィールドに、メールの受信者のメールアドレスを指定します。複数の受信者を指定する場合は、メールアドレスごとにコンマ (,) またはセミコロン (;) で区切る必要があります。

例：user1@company.com, user2@company.com

- [プロファイル] リストボックスから、この送信先のデフォルトとして利用するプロファイルを選択します。

注意：

- ユーザは読み取りを行う際に、AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して別のプロファイルを指定することができます。
- [プロファイル] リストボックスに表示されている <デフォルト- xx> は、[送信先のデフォルト値] ページで指定されたデフォルトのプロファイルです。

8. 以下の表を参考にして、イメージに添付する情報を選択してください。

オプション	説明
デフォルトー xx	[送信先のデフォルト値] ページで指定されたデフォルト値。
なし	情報を一切含めない。
基本	AXIS 7000/FX についての情報（接続されているデジタル複写機 / スキャナ、読み込みを実行する際のパラメータ設定など）を含める。
完全	基本の情報と、イメージに関連したプロファイル設定を含める。

9. 読み込んだイメージは、添付ファイルとして、またそのファイルへのハイパーリンク（URL）として電子メールに含めることができます。読み込んだイメージをどのように送信するか、適切なオプションボタンをクリックして選択します。

重要！

URL を選択した場合、読み込んだイメージの保存先を指定する必要があります。
[電子メールに URL を記述] ボタンをクリックし、イメージを保存するディレクトリを指定します。

10. このタスクを完了するには、以下のいずれかの作業を行ってください。
- 新しい送信先を入力するには、[リストに追加] をクリックします。送信先の追加が完了したら、[終了] をクリックして [送信先] ページに戻ります。
 - 既存の送信先を編集して変更を保存するには、[OK] をクリックします。

注意：

- 複数の送信先を指定するには、送信先をエントリごとにコンマ (,) またはセミコロン (;) で区切ります。
例：user1@company.com, user2@company.com
- FTP サーバ上の送信先リストを指定することもできます。詳しくは、46 ページ「外部アドレス帳」を参照してください。

一時的な送信先を登録する

管理者は、ユーザが [ユーザ] - [送信先] ページの [新しい送信先 >>] ボタンを利用して一時的な電子メールへの送信先の追加が行えるよう、許可することができます。このオプションが有効な場合、最近追加された 5 つの一時的な送信先が、[管理者] - [送信先] ページの送信先リストの先頭に表示されます。

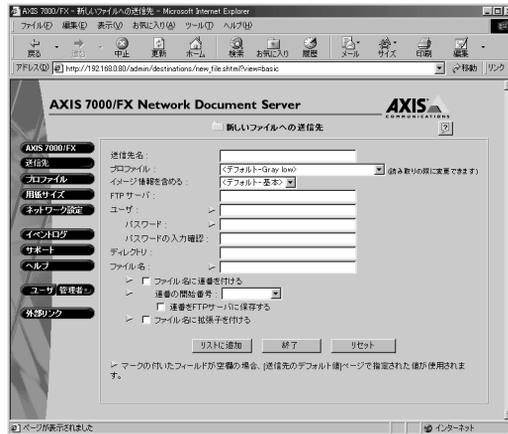
管理者は [管理者] - [送信先] ページを表示し、送信先リストに表示されている一時的な送信先の [登録]  ボタンをクリックすることにより、これらの一時的な送信先を恒久的な送信先として登録することができます。

ファイルへの送信先の作成と編集

ファイルへの送信先  を利用すれば、ユーザは読み取ったイメージを、FTP プロトコルを利用してファイルサーバ上のディレクトリに保存することができます。

以下の手順にしたがって、ファイルへの送信先の作成および編集を行ってください。

1. Web ページ左側の [送信先] ボタンをクリックします。
2. リストに表示されている既存の送信先を編集するには、任意の送信先名のリンクをクリックし、手順 4 に進んでください。
3. ファイルへの送信先: [作成 >>] をクリックし、新しいファイルへの送信先をリストに追加します。



4. [送信先名] フィールドに、分かりやすいファイルへの送信先の名前を指定します。この名前が、[送信先] リストに表示されます。

注意：

送信先名は、40 文字以下（ASCII コード）で入力してください。

5. [プロファイル] リストボックスから、この送信先のデフォルトとして利用するプロファイルを選択します。

注意：

- ユーザは読み取りを行う際に、AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して別のプロファイルを指定することができます。
- [プロファイル] リストボックスに表示されている < デフォルト- xx > は、[送信先のデフォルト値] ページで指定されたデフォルトのプロファイルです。

6. 以下の表を参考にして、イメージに添付する情報を選択してください。

オプション	説明
デフォルト- xx	[送信先のデフォルト値] ページで指定されたデフォルト値。
なし	情報を一切含めない。
基本	AXIS 7000/FX についての情報（接続されているデジタル複写機 / スキャナ、読み込みを実行する際のパラメータ設定など）を含める。
完全	基本の情報と、イメージに関連したプロファイル設定を含める。

- [FTP サーバ] フィールドに、読み取ったイメージを保存する FTP サーバの名前または IP アドレスを指定します。
- [ユーザ] フィールドに、FTP サーバにログインするためのユーザ名を指定します。
- FTP サーバにログインするためのパスワードが必要な場合、[パスワード] フィールドにパスワードを指定します。[パスワードの入力確認] フィールドに同じパスワードをもう一度入力し、スペルを確認します。
- [ディレクトリ] フィールドに、イメージを保存する FTP サーバのディレクトリを指定します。
- [ファイル名] フィールドに、読み取ったイメージのファイル名を指定します。

注意：

[ユーザ] および [ファイル名] フィールドが空欄の場合、[送信先のデフォルト値] ページで定義されたユーザ名、パスワード、ファイル名が使用されます。

- ファイル名と連続番号、さらに拡張子を組み合わせることができます。54 ページ「ファイル名の 連続番号と拡張子」を参考にしてください。

例：

filename001.pdf

13. このタスクを完了するには、以下のいずれかの作業を行ってください。
- 新しいファイルへの送信先を保存するには、[リストに追加] をクリックします。送信先の追加が完了したら、[終了] をクリックして [送信先] ページに戻ります。
 - 既存のファイルへの送信先を編集して変更を保存するには、[OK] をクリックします。
 - ファイルへの送信先のコピーを保存するには、送信先リストに表示されているコピーしたい送信先の [コピー] ボタンをクリックし、[ファイルへの送信先のコピー] ページで [OK] をクリックします。

ファイル名の 連続番号と拡張子

[新しいファイルへの送信先] または [ファイルへの送信先の編集] で定義された送信先のファイル名に、連続番号や拡張子を追加することができます。これらの番号や拡張子 (例: tif, jpg, pdf) はファイル名の一部となり、拡張子は適切なイメージビューアを自動的に起動するために使用されます。

イメージファイルを連続して保存する場合は、[ファイル名に連番を付ける] のチェックボックスをオンにします。指定した送信先に対して読み取りを実行するごとに、新しいイメージファイルが保存されます。たとえば、[連番の開始番号] ドロップダウンリストから使用する連続番号の種類として「01」を選択した場合、指定する送信先に対して最初に読み取ったイメージのファイル名は、「filename00」となります。次に読み取ったイメージのファイル名は、「filename01」となります。

多数のファイルを含むディレクトリの場合、連続番号を使用して FTP サーバに保存すると、パフォーマンスが向上します。ただし、そのためには指定したディレクトリに含まれるファイルに対して、AXIS 7000/FX が上書きまたは削除が行えるよう設定されている必要があります。

以下の表に、利用できる連続番号と拡張子についてまとめます。

オプション	説明
ファイル名に連番を付ける	固有の連続番号を、ファイル名に追加します。
連番の開始番号	ファイルへの送信先に対して、最初に読み取ったイメージに追加する連続番号を選択します。たとえば、「01」を選択した場合、最初のイメージファイル名は「filename00」となり、次のイメージファイル名は「filename01」となります。
連番を FTP サーバに保存する	このチェックボックスをオンにすると、連続番号を FTP サーバに保存します。多数のファイルを含むディレクトリの場合、パフォーマンスが向上します。ただし、FTP サーバ上のディレクトリに対し、変更または削除を行える権限が必要です。

オプション

説明

ファイル名に拡張子を付ける

このチェックボックスをオンにすると、ファイル名に拡張子を追加します。たとえば、tif、jpg、pdf などです。ファイルの拡張子は、使用したプロファイルと一致します。適切なイメージビューワを自動的に起動するためには、拡張子を付ける必要があります。

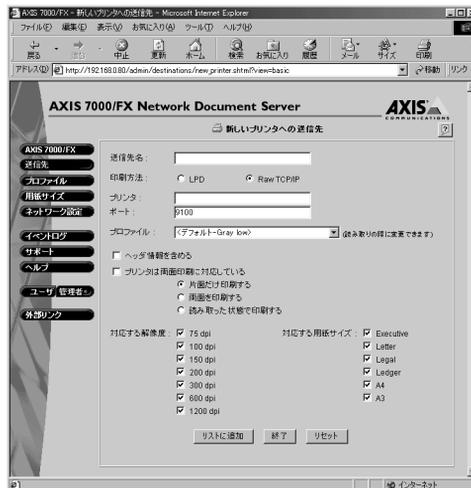
プリンタへの送信先の作成と編集

プリンタへの送信先  を利用すれば、ユーザは Raw TCP/IP または LDP を利用して、読み取ったイメージをネットワーク上の PCL プリンタに送信できます。

Raw TCP/IP 印刷

以下の手順にしたがって、新しい TCP/IP プリンタへの送信先の作成または編集を行ってください。

1. Web ページ左側の [送信先] ボタンをクリックします。
2. リストに表示されている既存の送信先を編集するには、任意の送信先名のリンクをクリックし、手順 5 へ進んでください。
3. プリンタへの送信先：[作成 >>] をクリックし、[新しいプリンタへの送信先] ページを表示します。



4. [送信先名] フィールドに、分かりやすいプリンタへの送信先の名前を入力します。

注意：

送信先名は、40 文字以下（ASCII コード）で入力してください。

5. [Raw TCP/IP] オプションボタンをクリックします。
6. [プリンタ] フィールドに、送信先のプリンタのホスト名または IP アドレスを入力します。

7. プリンタが使用しているポート番号（通常は 9100）を指定します。
8. [プロファイル] ドロップダウンリストから、この送信先のデフォルトとして利用するプロファイルを選択します。

注意：

- ユーザは読み取りを行う際に、AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して別のプロファイルを指定することができます。
- [プロファイル] リストボックスに表示されている < デフォルトー xx > は、[送信先のデフォルト値] ページで指定されたデフォルトのプロファイルです。
- プロファイルの種類は、プリンタへの送信先用の PCL フォーマットを選択してください。

9. 印刷するドキュメントに、日付、時間、送信先、差出人、ページ番号を含める場合は、[ヘッダ情報を含める] チェックボックスをオンにします。
10. 利用するプリンタが両面印刷に対応している場合は、[プリンタは両面印刷に対応している] チェックボックスをオンにします。必要に応じて、[片面だけを印刷する]、[両面を印刷する] または [読み取った状態で印刷する] オプションボタンを選択します。
11. 適切なチェックボックスをクリックし、利用するプリンタが対応している解像度、用紙サイズを定義します。

注意：

- 解像度は、X 軸および Y 軸ともに同じ値を設定してください。

12. このタスクを完了するには、以下のいずれかの作業を行ってください。
 - 新しいプリンタへの送信先を追加する場合は、[リストに追加] をクリックします。必要なプリンタへの送信先の追加がすべて終了したら、[終了] をクリックします。
 - 既存のプリンタへの送信先を編集して変更を保存するには、[OK] をクリックします。
 - プリンタへの送信先のコピーを保存するには、送信先リストに表示されているコピーしたい送信先の [コピー] ボタンをクリックし、[プリンタへの送信先のコピー] ページで [OK] をクリックします。

LPD 印刷 以下の手順にしたがって、LPD プリンタの送信先を編集または追加してください。

1. Web ページ左側の [送信先] ボタンをクリックします。
2. リストに表示されている既存の送信先を編集するには、任意の送信先名のリンクをクリックし、手順5へ進んでください。
3. プリンタへの送信先:[作成 >>] をクリックし、[新しいプリンタへの送信先] ページを表示します。
4. [送信先名] フィールドに、分かりやすいプリンタへの送信先の名前を入力します。

注意：

送信先名は、40文字以下（ASCIIコード）で入力してください。

5. [LPD] オプションボタンをクリックします。
6. [サーバ] フィールドに、LPD サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
7. [キュー] フィールドに、利用するプリンタキューのサーバ上の名前を入力します。任意で、プリントジョブのオーナーを示すユーザ名を入力することができます。
8. [Axis プリントサーバ]、[Windows キュー]、[UNIX キュー] または [その他] オプションボタンをクリックして、利用する LPD モードを指定します。

注意：

- Axis 以外のプリントサーバが送信先の場合は、[その他] をクリックしてください。
- お使いのネットワーク上の専用 LPD サーバにファイルを送信する場合のみ、[UNIX キュー] をクリックしてください。

9. [プロファイル] ドロップダウンリストから、この送信先のデフォルトとして使用するプロファイルを選択してください。

注意：

- ユーザは読み取りを行う際に、AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して別のプロファイルを指定することができます。
- [プロファイル] リストボックスに表示されている <デフォルト-xx> は、[送信先のデフォルト値] ページで指定されたデフォルトのプロファイルです。

10. 印刷するドキュメントに、日付、時間、送信先、差出人、ページ番号を含める場合は、[ヘッダ情報を含める] チェックボックスをオンにします。

11. 利用するプリンタが両面印刷に対応している場合は、[プリンタは両面印刷に対応している] チェックボックスをオンにします。必要に応じて、[片面だけを印刷する]、[両面を印刷する] または [読み取った状態で印刷する] オプションボタンを選択します。
12. 適切なチェックボックスをクリックし、利用するプリンタが対応している解像度、用紙サイズを定義します。

注意：

- 解像度は、X 軸および Y 軸ともに同じ値を設定してください。

13. このタスクを完了するには、以下のいずれかの作業を行ってください。
 - 新しいプリンタへの送信先を追加する場合は、[リストに追加] をクリックします。必要なプリンタへの送信先の追加がすべて完了したら、[終了] をクリックします。
 - 既存のプリンタへの送信先を編集して変更を保存するには、[OK] をクリックします。
 - プリンタへの送信先のコピーを保存するには、送信先リストに表示されているコピーしたい送信先の [コピー] ボタンをクリックし、[プリンタへの送信先のコピー] ページで [OK] をクリックします。

プロフィールを指定する

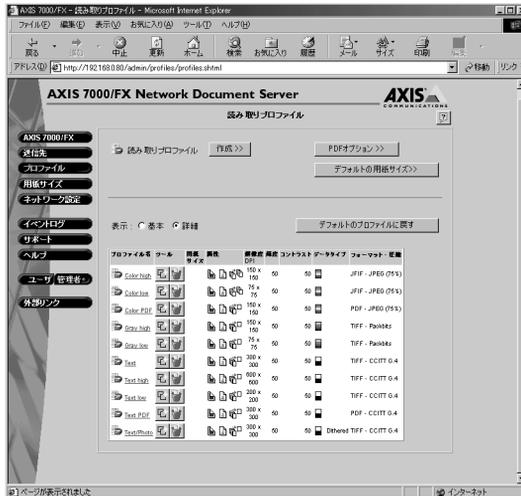
プロフィールは、読み取りを実行する際に使用する読み取り機器と、イメージのパラメータを定義したものです。プロフィールは、送信先の定義の一部となります。

注意：

通常、プロフィールは送信先に関連付けられていますが、読み取りの際に AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して別のプロフィールを選択し、既に関連付けられている設定を無効にすることができます。

Web ページ左側の [プロフィール] ボタンをクリックし、以下の設定を行います。

- 登録済みのプロフィール、一時的なプロフィールを確認する。
- パラメータ設定を確認する。
- プロフィールを編集する。
- 一時的なプロフィールを登録する。
- 既存のプロフィールのコピーを作成する。
- プロフィールを削除する。



サービスの概要

このページのボタンによって提供される情報やサービスの概要を、以下の表に示します。

ボタン	説明
読み取りプロファイル：作成 >>	管理者は、このボタンをクリックして新しいプロファイルを作成できます。詳しくは、以下の「プロファイルの作成と編集」を参照してください。
PDF オプション >>	デジタル複写機でコピーを実行する時と同じ方向にドキュメントをセットすることができます。
デフォルトの用紙サイズ >>	管理者は、デフォルトの用紙サイズを使用したすべてのプロファイルの用紙サイズを設定できます。
デフォルトのプロファイルに戻す	<p>AXIS 7000/FX には、一般的な用途に合わせた定義済みのプロファイルが含まれています。定義済みのプロファイルを復元するには、このボタンをクリックしてください。詳しくは、64 ページ「定義済みプロファイル」を参照してください。</p> <p>注意：定義済みのプロファイルを復元すると、すべてのユーザ定義プロファイルは失われます。</p>

プロファイルの作成と編集

以下の手順にしたがって、インボイスや郵便など読み取るドキュメントの種類に合わせた新しいプロファイルの作成、または既存のプロファイルの編集を行ってください。

注意：

- [環境] タブで新しいコントロールパネル言語を選択した場合は、[プロファイル] ページの [デフォルトのプロファイルに戻す] をクリックし、プロファイルリストの表示を更新します。使用する言語は、用紙サイズやプロファイルなどの定義および変更を行う前に選択しておくことをお勧めします。
 注意：[デフォルトのプロファイルに戻す] をクリックすると、すべてのユーザ定義プロファイルおよび定義済みプロファイルへの変更は失われます。
- 選択した各設定の組み合わせが不適切だった場合、AXIS 7000/FX はエラーメッセージを表示します。

1. Web ページ左側の [プロファイル] ボタンをクリックします。
2. 既にプロファイルが作成されている場合、リストにプロファイルが表示されます。プロファイル名は、テキストで表示されます。既存のプロファイルを編集する場合は、任意のプロファイル名のリンクをクリックし、手順 4 に進みます。
3. 読み取りプロファイル：[作成 >>] をクリックし、新しいプロファイルをリストに追加します。

4. 62 ページ「プロファイルのパラメータ」の表にしたがって、[新しい読み取りプロファイルの作成] または [読み取りプロファイルの編集] ページに表示されるすべてのパラメータを定義します。
5. このタスクを完了するには、以下のいずれかの作業を行ってください。
 - 新しいプロファイルを追加する場合は、[リストに追加] をクリックします。プロファイルの定義が完了したら、[終了] をクリックします。
 - 既存のプロファイルを編集して変更を保存するには、[OK] をクリックします。
 - プロファイルのコピーを保存するには、プロファイルリストに表示されているコピーしたいプロファイルの [コピー] ボタンをクリックし、[読み取りプロファイルの編集] ページで [OK] をクリックします。
6. 現在のプロファイル設定を消去する場合は、[リセット] をクリックします。
7. 現在のプロファイル設定を利用してデジタル複写機 / スキャナにセットされているドキュメントを読み取るには、[読み取り] をクリックします。プロファイルで利用しているイメージフォーマットにしたがい、Webブラウザでイメージを表示、またはイメージをファイルとして保存します。

プロファイルの パラメータ

パラメータ名	オプション	手順
プロファイル名	-	プロファイルリストに表示される名前です。分かりやすいプロファイル名を指定してください。
用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • A3、A4、A5、B4、B4 (JIS)、B5、B5 (JIS) • Business card • Executive • Ledger • Legal • Letter (default) • Photo 3.5 x 5" • Photo 4 x 6" 	ドロップダウンリストから、用紙サイズを選択します。 注意： <デフォルト-xx> は、[管理者] - [デフォルトの用紙サイズ] ページで定義されているデフォルトの用紙サイズです。
読み取り方法	<ul style="list-style-type: none"> • 片面読み取り • 両面読み取り 	デジタル複写機/スキャナが両面読み取りに対応している場合、適切なオプションボタンをクリックして指定します。 注意： この機能は、デジタル複写機/スキャナが両面読み取りに対応している場合のみ利用できます。
用紙方向	<ul style="list-style-type: none"> • 縦: 用紙を縦方向に読み取り • 横: 用紙を横方向に読み取り 	適切なオプションボタンをクリックし、利用する用紙方向を指定します。
複数ページドキュメント	<ul style="list-style-type: none"> • 1つのファイルにまとめる • ページごとにファイルを分割 	複数ページのドキュメントを読み込む場合、読み込まれたページを1つのイメージファイルとして保存するか、またページごとにイメージファイルを保存するか、適切なオプションボタンをクリックして選択します。 注意： <ul style="list-style-type: none"> • TIFF のイメージビューワには、複数ページを含むイメージファイルに対応していない場合があります。 • Web ブラウザに複数ページのドキュメントを送信する場合、[ページごとにファイルを分割] オプションは利用できません。

パラメータ名	オプション	手順
解像度	24 - 600 (DPI)	読み取りに使用する解像度を、X 軸方向および Y 軸方向に DPI で指定します。 注意： <ul style="list-style-type: none"> 高い解像度を設定すると質の高い読み取り結果が得られますが、時間がかかる場合があります。使用できる解像度は、お使いのスキヤナの性能によって異なります。 X 軸および Y 軸方向に、それぞれ異なる解像度を設定することはできません。
輝度	0 - 100 (%)	輝度をパーセントで指定します。
コントラスト	0 - 100 (%)	コントラストをパーセントで指定します。 注意： コントラストは、画像の最も明るい部分、中間、暗い部分の間の色調です。
データタイプ	<ul style="list-style-type: none"> 白黒 グレースケール カラー 	読み取るドキュメントおよびイメージを開くアプリケーションに応じて、利用するデータタイプを選択します。
フォーマット-圧縮	<ul style="list-style-type: none"> TIFF - No compression TIFF - CCITT G.3 - one dim TIFF - CCITT G.3 - two dim TIFF - CCITT G.4 TIFF - Packbits PDF - No compression PDF - CCITT G.3 - one dim PDF - CCITT G.3 - two dim PDF - CCITT G.4 PDF - Packbits PDF - JPEG PCL - PCL5 JFIF - JPEG 	イメージのフォーマットと圧縮の種類のを組み合わせを、ドロップダウンリストから選択します。 注意： フォーマットと圧縮の選択項目は、選択したデータタイプによって変化します。詳しくは、65 ページ「フォーマットと圧縮のガイドライン」を参照してください。

パラメータ名	オプション	手順
ディザ方式 (白黒画像のみ)	<ul style="list-style-type: none"> • None(なし) テキストに適した方法。 • Dithered(ディザ) 写真に適した方法。 中間のグレーレベルよりも明るいグレーを白に変換します。また、中間のグレーレベルより暗いグレーを黒に変換します。 • Error diffusion(誤差拡散) 写真に適した方法。 各ピクセルのグレーレベルを計算し、黒または白に変換します。変換を実行する前に、誤差の量を隣接するピクセルに拡散します。誤差はイメージ全体に拡散されます。 	<p>モノクロのイメージの場合、ドロップダウンリストからディザの方式を選択します。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべてのデジタル複写機 / スキャナがディザ処理に対応しているわけではありません。 • ディザ処理を実行すると、スキャン結果は粒子の粗いフィルムのような質感になります。
JPEG 画質レベル	0 - 100(%)	<p>JFIF - JPEG または PDF - JPEG 形式の JPEG 画像の画質レベルを、パーセントで指定します。</p> <p>注意：高い数値を指定した場合、高画質を得るために圧縮率が低くなります。よって、低画質のイメージよりも多くのディスクスペースが必要になります。75% の画質レベルを利用すれば、オリジナルの画像とほぼ遜色のない結果が得られます。</p>

定義済みプロファイル

AXIS 7000/FX には、ほとんどの目的に対応する 10 種類の定義済みプロファイルが含まれています。以下の表に、定義済みプロファイルの種類を示します。

名前	解像度	タイプ	フォーマット
Color high	150	24 ビットカラー	JFIF - JPEG
Color low	75	24 ビットカラー	JFIF - JPEG
Color PDF	150	24 ビットカラー	JFIF - JPEG
Gray high	150	4 ビットグレースケール	TIFF - Packbits
Gray low	75	4 ビットグレースケール	TIFF - Packbits
Text	300	モノクロ	TIFF - CCITT G.4
Text high	600	モノクロ	TIFF - CCITT G.4
Text low	200	モノクロ	TIFF - CCITT G.4
Text PDF	300	モノクロ	TIFF - CCITT G.4
Text/Photo	300	モノクロ	TIFF - CCITT G.4

プロファイルの登録

管理者がユーザに対して一時的なプロファイルの追加を許可している場合、最近追加された5つの一時的なプロファイルがプロファイルリストに残ります。管理者は[登録]  ボタンをクリックして、一時的なプロファイルを恒久的なプロファイルとして登録することができます。

フォーマットと圧縮のガイドライン

新しいプロファイルを作成または編集する場合、適用するフォーマットと圧縮の方法を指定する必要があります。以下の表に、各方法の利点について示します。

フォーマット コメント

TIFF	モノクロまたはグレースケールのイメージ用で、単一ページ、複数ページに対応しています。
JFIF	カラーイメージ用で、単一ページにのみ対応しています。
PDF	カラーおよびグレースケールのイメージ用で、単一ページ、複数ページに対応しています。Adobe Acrobat Readerが必要です。
PCL	プリンタへの送信先に使用するプロファイルです。モノクロイメージにのみ対応しています。

注意：

- 圧縮の方法は、画像から細部を取り除くかどうかによって区別されます。CCITTエンコーディングは、モノクロイメージのためのロスが少ない圧縮方法の一つであり、CCITT G.4 は最も効率のよい圧縮手法です。
- JPEG は「lossy」な圧縮方法であり、画像を表示するのに必要のない余分なデータを特定し、それを捨てることによってファイルサイズを小さくします。
- 画像処理のソフトを利用してカラー画像の編集などを行う場合は、非圧縮の TIFF を使用することをお勧めします。

注意：

- 生成された TIFF イメージには検索できるテキストは含まれません。ただし、OCR (Optical Character Recognition) などの文字読み取りアプリケーションを利用すれば、ビットマップのイメージファイルから編集可能なテキストへの変換が可能です。変換したテキストは、編集、文字の検索、また別のファイルにコピーすることができます。
- 生成された PDF イメージには、検索できるテキストは含まれません。Adobe Capture や Adobe Acrobat に含まれるキャプチャ機能を利用して、検索可能なテキストを作成することができます。

用紙サイズを指定する

[用紙サイズ] フィールドで、読み取るイメージのサイズを定義します。このパラメータは、プロファイルの一部です。

注意：

ユーザは読み取りの際に、AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して別の用紙サイズを設定し、プロファイルで使用している用紙サイズを無効にすることができます。

定義済み用紙サイズ

AXIS 7000/FX には、ほとんどの目的に対応する 14 種類の定義済み用紙サイズが含まれています。以下の表に、定義済み用紙サイズの種類を示します。

名前	幅 (cm)	長さ (cm)	幅 (インチ)	長さ (インチ)
A3	29.70	42.00	11.69"	16.54"
A4	21.00	29.70	8.27"	11.69"
A5	14.80	21.00	5.83"	8.27"
B4	25.00	35.30	9.84"	13.90"
B4 (JIS)	25.70	36.40	10.12"	14.33"
B5	17.60	25.00	6.93"	9.84"
B5 (JIS)	18.20	25.70	7.17"	10.12"
Business Card	5.50	9.50	2.17"	3.74"
Executive	18.41	26.67	7.25"	10.50"
Ledger	27.94	43.18	11.00"	17.00"
Legal	21.59	35.56	8.50"	14.00"
Letter	21.59	27.94	8.50"	11.00"
Photo 3.5" x 5"	8.89	12.70	3.50"	5.00"
Photo 4" x 6"	10.16	15.24	4.00"	6.00"

以下の手順にしたがって、上記の表に示されている定義済み用紙サイズの編集、また利用目的に合わせた新しい定義を作成してください。

注意：

新しいコントロールパネル言語を選択した場合は、[用紙サイズ] ページの [デフォルトの用紙サイズに戻す] をクリックし、用紙サイズリストの表示を更新します。使用する言語は、用紙サイズやプロファイルなどの定義および変更を行う前に選択しておくことをお勧めします。

注意：[デフォルトの用紙サイズに戻す] をクリックすると、すべてのユーザ定義プロファイルおよび定義済みプロファイルに加えられた変更が失われます。

1. Web ページ左側の [用紙サイズ] ボタンをクリックし、用紙サイズを指定します。リストに含まれる用紙サイズを編集するには、任意の用紙サイズ名リンクをクリックします。新しい用紙サイズを作成するには、[作成 >>] をクリックします。

2. 定義済み用紙サイズの設定に戻すには、[デフォルトの用紙サイズに戻す] をクリックします。これを実行すると、現在の用紙サイズの設定はすべて失われます。

FTP を利用して設定する

AXIS 7000/FX の設定ファイルには、ネットワークプロトコル、プロファイル、用紙サイズ、送信先に関するすべてのシステムパラメータ設定が含まれています。

Web ベースの設定方法の代わりに、テキストエディタで設定ファイルを編集し、FTP を利用して AXIS 7000/FX に編集したファイルをアップロードすることができます。

注意：

設定ファイルにアクセスするには、まず最初に AXIS 7000/FX の IP アドレスを設定する必要があります。詳しくは、22 ページ「IP アドレスを割り当てる」を参照してください。

以下の手順にしたがって、FTP とテキストエディタを利用した設定ファイルの編集を行ってください。

重要！

Windows 95 および Windows 98 には、「config」という重要なシステムファイルを含むディレクトリがあります。Windows 95/98 環境から AXIS 7000/FX の設定ファイルの修正を行う前に、cd コマンドを利用して別のディレクトリに変更しておくことが重要です。ディレクトリを変更せずに以下の手順を実行した場合、お使いのコンピュータのファイルが上書きされることがあります。

1. DOS 窓 (DOS プロンプト、コマンドプロンプト) または UNIX のシェルウィンドウで、以下のコマンドを入力します。
ftp AXIS 7000/FX の IP アドレス
2. ユーザ ID に root、パスワードに pass を入力してログインします。

注意：

管理者によってパスワードが変更されている場合があります。パスワードの変更は、[AXIS 7000/FX] ページの [編集] - [一般] タブで行います。

3. 以下のコマンドを入力し、現在のディレクトリに AXIS 7000/FX の設定ファイルを転送します。
get config.ini
4. テキストエディタを使用して、設定ファイルを編集します。Windows 95/98、また Windows NT/2000 環境では、メモ帳が利用できます。

注意：

市販のワープロソフトは使用しないでください。

5. 以下のコマンドを入力して AXIS 7000/FX に設定ファイルを転送し、変更を保存します。

```
put config.ini
```

6. quit、bye、exit のいずれかを入力して FTP セッションを終了します。

注意：

- 複数の AXIS 7000/FX を設定する場合は、設定ファイルをテンプレートとして利用することができます。
- 変更された設定パラメータを転送するだけでも十分です。他のパラメータは変更されず、そのまま残ります。
- IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク以外のすべてのパラメータ設定は、FTP を利用して変更することができます。詳しくは、93 ページ「付録 B パラメータリスト」を参照してください。

第 5 章 AXIS 7000/FX を使用する

この章では、AXIS 7000/FX の使用方法について説明します。
ユーザの視点からとらえた、以下の情報が含まれます。

- 読み取り方法
- 送信先に送信
- 複数ページの送信
- 一時的な送信先とプロファイルの追加
- Web ブラウザに送信
- イメージファイルの表示

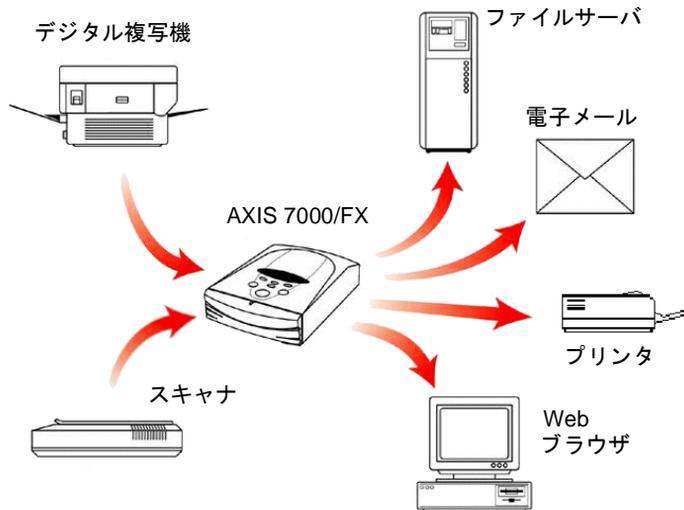
注意：

「第 4 章 AXIS 7000/FX を設定する」は、AXIS 7000/FX の管理を行うユーザを対象としています。管理者として AXIS 7000/FX を利用する場合は、「第 4 章 AXIS 7000/FX を設定する」を参照してください。

読み取り方法

AXIS 7000/FX には、読み取ったドキュメントを配信する 5 つの方法があります。

- 電子メールへの送信 (Send-to-E-mail)
- ファイルへの送信 (Send-to-File)
- プリンタへの送信 (Send-to-Print)
- 参照先 URL の送信 (Send-to-URL)
- Web ブラウザへの送信 (Send-to-Web browser)



AXIS 7000/FX を利用すれば、ネットワークに接続されたスキャナやデジタル複写機といった読み取り機器から、電子メールアドレス、ファイル、プリンタへの送信先に、読み取ったドキュメントを配信することができます。

管理者によって設定されたプロファイルや送信先を利用するだけでなく、ユーザは Web ベースの内部ホームページやキーボード (管理者が接続した場合) を利用して、一時的な電子メールへの送信先やプロファイルを作成することができます。

送信先 読み取ったドキュメントは、通常 AXIS 7000/FX のコントロールパネルまたは 101 英語キーボード (管理者が接続した場合) を利用して、選択した電子メール、ファイル、プリンタへの送信先に送信します。

送信先リストに利用したい送信先がない場合は、ユーザは内部 Web ページおよびキーボードを利用して、一時的な電子メールへの送信先を追加することができます。一時的な電子メールへの送信先を恒久的な送信先として登録する場合は、管理者に相談してください。

Send-to-E-mail 送信先リストで定義されている電子メールアドレスに、ドキュメントイメージを送信することができます。電子メールの転送には、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を利用します。読み取ったドキュメントを MIME エンコード方式で変換した添付ファイルとして送信するか、ファイルサーバに保存し、電子メールに含まれたハイパーリンクからアクセスできるようにします。

ハイパーリンクをクリック、または添付ファイルをダブルクリックすると、イメージに関連付けられているアプリケーションが自動的に起動します。

Send-to-File 送信されたドキュメントイメージは、ネットワーク上の記憶装置に保存されます。サーバ、クライアントの共有ドライブ、またお使いのファイルシステムで利用できるネットワーク上の装置が考えられます。イメージファイルは、FTP (File Transfer Protocol) を利用して転送、保存されます。

通常イメージファイルは、グループウェア、ドキュメント管理システム、ワークフローシステムなど、特定の管理アプリケーションソフトウェアに送信されます。

注意：

ユーザは FTP サーバ上に自分のディレクトリを用意し、そのディレクトリにドキュメントイメージを送信することができます。Windows 95/98、Windows NT、Windows 2000 などのオペレーティングシステムでは、デスクトップ上にイメージを保存するディレクトリへのショートカットを置くことができます。ショートカットを利用すれば、イメージファイルに簡単にアクセスすることができます。

Send-to-URL Send-to-URL (Uniform Resource Locator) は、Send-to-E-mail とファイルサーバにイメージを保存する Send-to-File を組み合わせた機能です。受取人は、添付ファイルとしてではなく、イメージファイルへの URL を記述した電子メールを受信します。この機能を利用すれば、サイズの大きい添付ファイルを扱う場合に生じるメールサーバへの負荷を軽減します。

Send-to-Web Browser 電子メールアドレスを持たないユーザにとって、便利な方法です。また、様々なプロファイルを試すのにも便利です。

デジタル複写機 / スキャナにドキュメントをセットし、標準的な Web ブラウザから AXIS 7000/FX にアクセスします。Web ブラウザから直接読み取りを開始して、Web ブラウザのダイアログでイメージを保存することができます。Web ブラウザは、イメージに関連付けられたビューフを表示するか、またイメージファイルを保存するメッセージを表示します。どちらが表示されるかは、イメージの形式によって異なります。

データは AXIS 7000/FX とユーザ間で、ピアツーピアで直接送信されます。よって、ネットワークの負荷が最小限に抑えられ、基幹ネットワークにデータを流しません。

Send-to-Print AXIS 7000/FX の送信先リストで、Raw TCP/IP または LPD 印刷を使用して定義されている PCL プリンタに、ドキュメントイメージを送信することができます。

Raw TCP/IP 印刷を利用すれば、ローカルまたはリモートネットワークに接続されている PCL プリンタに、ネットワークセグメントを越えてイメージを送信することができます。

送信先を指定した読み取り

注意：

イメージを電子メールアドレスまたはファイルに送信する前に、管理者は送信先を設定しておく必要があります。詳しくは、48 ページ「送信先を指定する」を参照してください。

AXIS 7000/FX のコントロールパネルから、以下の手順を実行してください。

1. AXIS 7000/FX が使用可能になると、Send to: xxxxxxx が表示されます。

Send to:
Accounting Dept

2. Up/Down   キーを押して、リストから利用する送信先を表示します。キーを押しつづけると、自動的にスクロールします。一時的な電子メールアドレスを追加する場合は、75 ページ「一時的な送信先を追加する」を参照してください。
3. イメージを複数の送信先に送信する場合は、Select  キーを押して送信先をそれぞれ選択します。

Send to: +1
Accounting Dept

注意：

プリンタに送信する場合は、他の送信方法を利用した送信先と一緒にイメージを送信することはできません。送信できるイメージは、一度に一台のプリンタに対してのみとなります。

4. 手順 2 と 3 を繰り返し、利用する送信先をすべて選択します。
5. 任意で、Menu  キーを押して読み取りパラメータのデフォルト設定を変更することができます。Up/Down   キーを使用して、プロファイル、用紙サイズ、両面読み取りの設定を一時的に選択します。

注意：

一時的な設定をデフォルト値に戻すには、Cancel ボタンをクリックします。

6. 接続されているデジタル複写機 / スキャナに応じて、フラットベッド式の場合は 1 ページ、シートフィーダ式の場合は複数ページをセットします。

1 ページ、または複数ページをシートフィーダにセットした場合

- a. Send (送信) キーを押すと、読み取りと送信先への送信が一度に行えます。

複数ページの場合

- a. Add (追加) キーを押して、1 ページずつ読み取ります。
 b. 次のページをセットし、Add (追加) キーを再度押します。必要なページをすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。
 c. Send (送信) キーを押して、イメージを送信先に転送します。

読み取りの実行中は、以下のメッセージが表示されます。

```
Scanning #1
please wait
```

注意：

- 必要でない送信先にイメージを送信しないよう注意してください。読み取ったイメージは、明示的に選択したかどうかに関係なく、常に現在表示されている送信先に送信されます。

7. Send (送信) キーを押し、ドキュメントイメージの転送が完了すると、AXIS 7000/FX が解放されて他のユーザがアクセスできるようになります。

注意：

- 複数ページを読み取った場合、それらのページを 1 つのイメージファイルまとめて保存することができます。詳しくは、73 ページ「複数ページのイメージファイル」を参照してください。
- コントロールパネル上のキー操作を開始してから 1 分以内に Add/Send キーを押さなかった場合、操作はキャンセルされます。
- AXIS 7000/FX は、読み取りを行った後の 60 秒間その読み取りに使用した一時的な設定をメモリ内に保持します。

複数ページのイメージファイル

複数ページのドキュメントは、デフォルトで 1 つの PDF または TIFF 形式のファイルにまとめて出力されます。

ページごとに PDF または TIFF ファイルを出力する場合は、[ページごとにファイルを分割] オプションボタンを選択します。

注意：

- JPEG フォーマットの場合、ページごとに1つのイメージファイルを送信します。
- PCL フォーマットの場合、複数ページを1つのPCLファイルとして送信します。
- 複数ページのイメージファイルに対応していないTIFFビューワの場合、[ページごとにファイルを分割] オプションを選択する必要があります。また、Send キーを利用して、1ページずつ読み取りを行います。
- Web ブラウザに複数ページのドキュメントを送信する場合、[ページごとにファイルを分割] オプションは利用できません。
- 両面読み取りを利用するには、スキャナが両面読み取りに対応している必要があります。

**デジタル複写機の
用紙方向**

正しいイメージを得るには、まず用紙方向の設定で「縦」を選択します。給紙方法が ADF (Automatic Document Feeder) の場合は、用紙の短い辺を先端にしてセットします。

注意：

PDF オプションは、同じフィーダを利用して長い辺（横方向）を先端にしてドキュメントをセットし、読み取りを実行できるようにします。

一時的な送信先を追加する

AXIS 7000/FX に含まれる電子メールリストは、管理者によって最初に作成されます。リストに含まれていない送信先にドキュメントを送信する場合は、以下のいずれかの方法を利用して一時的な電子メールへの送信先を追加することができます。

- 101 英語キーボード
- 標準的な Web ブラウザ

キーボードを 利用する

AXIS 7000/FX にキーボードを接続すれば、電子メールリストから簡単に送信先を検索することができます。キーボードを利用して検索したい送信先の最初の 2、3 文字を入力すると、検索条件に最も近い送信先が、AXIS 7000/FX の液晶パネルに自動的に表示されます。

注意：

検索した送信先が電子メールリストに含まれていない場合、以下の [Add Address] プロンプトが液晶パネルに表示されます。

以下の手順にしたがって、新しい電子メールアドレスをリストに追加してください。

1. キーボードが接続されていない場合は、まず AXIS 7000/FX の外部電源を取り外します。リアパネルにあるコネクタにキーボードを接続し、AXIS 7000/FX に外部電源を接続して電源を入れます。
2. キーボードの [Insert] キーを押します。以下のメッセージが表示されます。

Add address:

3. 追加する新しい電子メールアドレスを入力し、[Enter] キーを押します。

注意：

送信先リストには、最近追加した 5 つの一時的な送信先が表示されます。これらの送信先を登録するには、管理者に相談してください。

以下の表に、キーボードの機能について示します。

キー	機能
Tab、右矢印キー	メニューをスクロールします。
Enter キー	複数の送信先を選択します。 IP アドレス、サブネットマスクなど、設定を決定します。
上 / 下矢印キー	メニューオプションをスクロールします。
Esc キー	読み取りを中止します。 メニューから実行された選択を取り消します。 エラーメッセージをリセットします。
F1 キー	雑誌や本など、製本されたものをページごとに読み取る時に利用します。
F2 キー	選択した送信先に読み取ったイメージを送信し、AXIS 7000/FX を解放して他のユーザが利用できるようにします。単一ページ、または複数ページのドキュメントの読み取りの実行と、イメージの送信を一度に行います。
スペースキー	送信先を検索して表示します。 例: J_S (_ は、半角スペース) の実行結果は、John Smith となります。
Insert キー	アドレスまたは件名を追加します。
Delete キー	一時的なアドレスを削除します。 編集中は、文字を削除します。 検索モードを終了します。
Backspace キー	文字を削除します。
左矢印キー	前のメニューに戻ります。
Page Up キー	Sent to または Send by リストで、アルファベット順に次の項目に進みます。
Page Down キー	Sent to または Send by リストで、アルファベット順に前の項目に進みます。
Home キー	リストの最初の項目に進みます。
End キー	リストの最後の項目に進みます。

Web ブラウザを 利用する

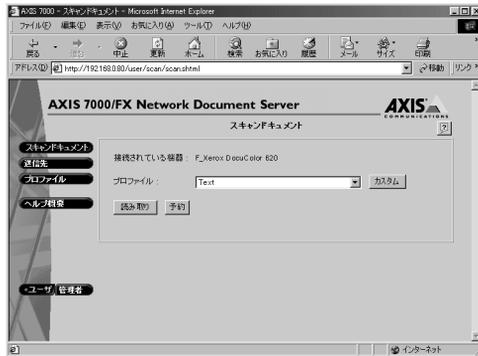
以下の手順にしたがって、一時的な電子メールアドレスをアドレスリストに追加してください。

1. Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの [場所/アドレス] フィールドに、AXIS 7000/FX のホスト名または IP アドレスを入力します。

例：

http://192.168.0.80/

AXIS 7000/FX のホームページ、[スキャンドキュメント] ページが表示されます。



3. [送信先] ボタンをクリックします。リストに、利用できる送信先が表示されます。
4. [新しい送信先 >>] をクリックします。新しい送信先の設定を行います。

注意：

送信先名は、40 文字以下（ASCII コード）で入力してください。

5. [OK] をクリックし、送信先を一時的に保存します。

注意：

- 送信先リストには、最近追加した 5 つの一時的な送信先が表示されます。これらの送信先を登録するには、管理者に相談してください。
- AXIS 7000/FX の電源を切ると、一時的な送信先はすべて消去されます。

一時的なプロファイルを追加する

利用できるすべてのプロファイルを試した後、まだそれらの読み取り結果に満足できない場合は、Web ブラウザを利用して一時的なプロファイルを追加することができます。

1. Web ブラウザを起動します。

注意：

管理者がユーザに対して、一時的なプロファイルの追加を許可していない場合があります。

2. Web ブラウザの [場所/アドレス] フィールドに、AXIS 7000/FX のホスト名または IP アドレスを入力します。

例：

http://192.168.0.80/

3. AXIS 7000/FX のホームページ、[スキャンドキュメント] ページが表示されます。[プロファイル] ボタンをクリックします。
4. リストに利用できるプロファイルが表示されます。[新しいプロファイル] をクリックし、設定を行います。デジタル複写機/スキャナにドキュメントがセットされている場合は、[読み取り] をクリックして読み取りの結果を確認することができます。

注意：

- 管理者がユーザに対して一時的なプロファイルの追加を許可していない場合、[新しいプロファイル] ボタンは表示されません。
- プロファイル名は、40 文字以下 (ASCII コード) で入力してください。

5. [追加] をクリックし、一時的にプロファイルを保存します。

注意：

- 送信先リストには、最近追加した5つの一時的な送信先が表示されます。これらの送信先を登録するには、管理者に相談してください。
- AXIS 7000/FX の電源を切ると、一時的な送信先はすべて消去されます。

読み取りパラメータ

AXIS 7000/FX のコントロールパネルで、Menu  キーを押してメニューをスクロールします。Up/Down   キーを使用し、必要な値を表示します。

以下の表に、送信先ごとにコントロールパネルから利用できるパラメータを示します。

パラメータ	送信先		
	電子メール/URL	FTP	プリンタ
Sent to (送信先)	はい	はい	はい
Sent by (差出人)	はい	いいえ	はい
Subject (件名)	はい	いいえ	いいえ

パラメータ	送信先		
	電子メール/URL	FTP	プリンタ
Number of copies (印刷部数)	いいえ	いいえ	はい
Profile (プロファイル)	はい	はい	はい
Paper size (用紙サイズ)	はい	はい	はい
Double sided (両面読み取り)	はい	はい	はい

注意：

設定を行わなかった場合は、デフォルトの設定が適用されます。

プロファイル AXIS 7000/FX には、ほとんどの目的に対応する 10 種類の定義済みプロファイルが含まれています。詳しくは、80 ページ「定義済みプロファイル」を参照してください。

プロファイルは管理者によって管理されます。管理者から許可されている場合、ユーザ独自の一時的なプロファイルを定義することができます。詳しくは、77 ページ「一時的なプロファイルを追加する」を参照してください。

読み取るドキュメントに合った、適切なプロファイルを選択します。ドキュメントの場合は、通常 **Text** プロファイルを使用します。写真の場合は **Text/Photo** プロファイル、**Gray**、または **Color** プロファイルのいずれかを使用します。

読み取ったカラーイメージの **JPEG** イメージへの変換は、AXIS 7000/FX が実行する計算量が増えるため時間がかかります。したがって、必要以上に高い解像度で読み取りを実行するのは避けてください。カラーイメージを **Web** で公開する場合には、通常 **Color low (75 dpi)** で十分です。

イメージエディタを利用して読み取ったイメージを編集する場合は、非圧縮の **TIFF** を使用することをお勧めします。

注意：

- デジタル複写機 / スキャナに対応していないプロファイルを選択した場合、出力されるファイルは自動的に **PDF** になります。たとえば、モノクロのデジタル複写機 / スキャナで **Color low** などのプロファイルを選択した場合、**PDF** ファイルが生成されます。
- 非圧縮の **TIFF** を選択した場合、大きなサイズのファイルが生成されることがあります。

定義済みプロファイル 以下の表に、定義済みプロファイルの用途を示します。

プロファイル名	説明
Color high	高い精度を必要とするカラー写真向けです。写真、データベース、クリップアートなどが含まれるドキュメントに適しています。ファイルサイズが大きくなるため、Web パブリッシングには不向きです。JPEG 形式は、複数ページのファイルを生成することはできません。
Color low	Web パブリッシング用のカラー写真向けです。Web パブリッシング、データベース、クリップアートが含まれるドキュメントに適しています。JPEG 形式は、複数ページのファイルを生成することはできません。
Color PDF	150dpi の PDF ドキュメントを作成します。印刷および電子メールの添付ファイルに適しています。
Gray high	細部の描写を必要とするモノクロ写真、図表を含むドキュメント向けです。16 段階のグレースケールでファイルを生成します。
Gray low	Web パブリッシング用のモノクロ写真向けです。16 段階のグレースケールでファイルを生成します。
Text (デフォルト)	OCR 用のモノクロドキュメント、また小さな文字を含むドキュメント向けです。ほとんどのドキュメントの読み取りに適しています。これは、デフォルトのプロファイルです。
Text high	小さなテキストを含むモノクロドキュメント向けで、OCR に最適です。600dpi の解像度に対応していないデジタル複写機 / スキャナの場合、機器それぞれの最大解像度が使用されます。
Text low	OCR 用以外、またインボイスなどの大きなテキストを含むモノクロドキュメント向けです。最大の読み取り速度と、最小のファイルサイズが必要な場合に適しています。
Text PDF	モノクロドキュメントを作成します。印刷および電子メールの添付ファイルに適しています。
Text/Photo	写真を含むモノクロドキュメント向けです。ラスタ効果を与えるため、写真にはディザがかかります。特にファックス送信するドキュメントに適しています。OCR には不向きです。代わりに、グレースケール用のプロファイルを使用してください。

用紙サイズ AXIS 7000/FX には、ほとんどの目的に対応する 14 種類の定義済み用紙サイズが含まれています。デフォルトの用紙サイズは「A4」です。用紙サイズは管理者によって管理されます。詳しくは、66 ページ「定義済み用紙サイズ」を参照してください。

両面読み取り 接続されているデジタル複写機 / スキャナが両面読み取りに対応している場合は、[両面読み取り] オプションボタンをオンにして、ページの両面を同時に読み取ることができます。両面読み取りのオプションは「Duplex」としても知られており、デジタル複写機 / スキャナのマニュアルではこの用語が使用されることがあります。

注意：

デフォルトでは、両面読み取り (Duplex) オプションはオフに設定されています。

Web ブラウザに送信する

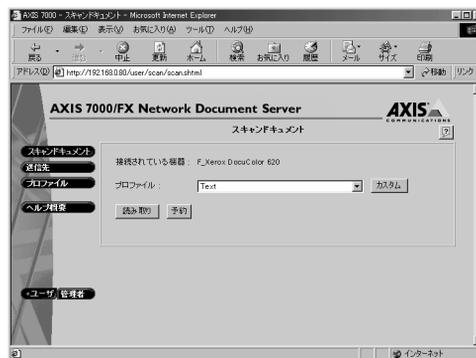
以下の手順にしたがって、Web ブラウザから読み取りを実行します。

1. お使いのデジタル複写機 / スキャナにドキュメントをセットします。
2. Web ブラウザを起動します。
3. Web ブラウザの [場所 / アドレス] フィールドに、AXIS 7000/FX のホスト名または IP アドレスを入力します。

例：

http://192.168.0.80/

4. AXIS 7000/FX のホームページ、[スキャンドキュメント] ページが表示されます。



AXIS 7000/FX のアドレスをブックマークとして追加するか、部門またはワークグループの Web ページへのリンクとして追加することをお勧めします。

5. 任意で、デフォルトのプロファイルを変更します。

注意：

Color high プロファイルは、[フォーマット - 圧縮] リストの組み合わせの中から「JFIF-JPEG」を使用します。この組み合わせは、複数ページの読み取りには使用しないでください。

6. [読み取り] をクリックし、Web ブラウザにイメージが表示されるのを待ちます。プロファイルで指定されたイメージ形式によって、Web ブラウザは関連付けられたビューワでイメージを表示するか、またイメージを保存するダイアログを表示します。Web ブラウザは一時的なファイル名を利用するため、イメージの編集などを行うには、ビューワでイメージを保存する必要があります。

7. 読み取りの結果に満足できない場合は、他の利用できるプロファイルを試すか、また [カスタム >>] をクリックして新しいプロファイルを設定します。
8. 読み取りを行うドキュメントがまだある場合は、次の読み取りに備えて [予約] をクリックし、AXIS 7000/FX を約 5 分間ロックすることができます。コントロールパネルを利用して読み取りを開始します。
9. 接続されているデジタル複写機 / スキャナがフラットベッド式の場合は、1 ページのドキュメントをセットします。シートフィーダ式の場合は、複数ページをセットします。
10. AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用して、読み取りを行います。

1 ページ、または複数ページをシートフィーダにセットした場合

- a. Send  キーを押すと、読み取りと Web ブラウザへの転送が一度に行えます。

複数ページの場合

- a. Add  キーを押して、1 ページずつ読み取ります。
- b. 次のページをセットし、Add  キーを再度押します。必要なページをすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。
- c. Send  キーを押して、イメージを送信先に転送します。

読み取りの実行中は、以下のメッセージが表示されます。

```
Scanning #1
please wait
```

11. Send  キーを押し、ドキュメントイメージの転送が完了すると、AXIS 7000/FX が解放されて他のユーザがアクセスできるようになります。

注意：

- 複数ページを読み取り、1 つのファイルにまとめることができます。詳しくは、73 ページ「複数ページのイメージファイル」を参照してください。
- コントロールパネル上のキー操作を開始してから 1 分以内に Add/Send キーを押さなかった場合、操作はキャンセルされます。

イメージファイルを表示する

AXIS 7000/FX は、ほとんどのイメージを扱うアプリケーションが対応する TIFF、JPEG、または PDF 形式のファイル、また多くのプリンタが対応する PCL 形式のファイルを生成します。

AXIS 7000/FX は、クライアントにインストールされている固有のソフトウェアには依存しません。ただし、読み込んだイメージを表示または操作するツールが必要となります。

一般的には、2 種類のイメージ操作ツールがあります。

- イメージ / 写真の編集用に最適化されたツール
- 読み取ったドキュメントの処理用に最適化されたツール

イメージ / 写真の 編集ツール

通常、イメージ / 写真の編集用ツールは、JPEG や、非圧縮の TIFF 形式（単一イメージ）に対応しています。これらのツールは、カラーおよびグレースケールイメージを扱うために最適化されています。JPEG または TIFF 形式に対応していれば、ほとんどのツールが問題なく使用できます。

イメージ表示、OCR、 保存用のツール

通常、イメージの表示、OCR、および保存用のツールは、複数ページ圧縮 TIFF に対応しています。また多くのツールは、JPEG にも対応しています。イメージビューワは、画面上でドキュメントの内容を読みやすいフォーマットで表示するために最適化されています。イメージの表示と簡易保存の機能を組み合わせたツールは、一般的になってきています。これらのツールは、Windows 95/98、また Windows NT/2000 に付属しています。

注意：

- 生成された TIFF イメージには、検索できるテキストは含まれません。ただし、OCR (Optical Character Recognition) などの文字読み取りアプリケーションを利用すれば、ビットマップのイメージファイルから編集可能なテキストに変換が可能です。変換したテキストは、編集、文字の検索、また別のファイルにコピーすることができます。
- 生成された PDF イメージには、検索できるテキストは含まれません。このような場合、Adobe Capture や Adobe Acrobat に含まれるキャプチャ機能を利用して、検索可能なテキストを作成することができます。

Acrobat Reader PDF 形式のファイルを表示するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Windows 版 (95、98、NT)、および Macintosh 版の Acrobat Reader は、アドビシステムズ社のホームページから無料でダウンロードすることができます。

注意：

- Text プロファイルを使用して読み取りを行う場合、イメージの表示ツールが CCITT G.4 圧縮 TIFF に対応しているか確認してください。TIFF フォーマットは、読み取ったドキュメントの表示や保存を行うのに、最も一般的なファイル形式です。お使いのアプリケーションが複数ページのドキュメントに対応していない場合、単一ページのドキュメントを生成するプロファイルを作成するか、1 ページずつ個別のジョブとして読み取りを実行します。
- Web パブリッシング用のイメージを読み取る場合は、Color low または Color high プロファイルを利用して JPEG ファイルを生成します。これらのプロファイルを利用して生成されたイメージは、現在利用されているほとんどのイメージエディタや Web ブラウザに対応しています。
- AXIS 7000/FX は、現在人気のある多数のツールと互換性があります。

イメージ形式と アプリケーションの 関連付け

通常、アプリケーションはインストールの実行中に自動的にファイル形式との関連付けが行われます。関連付けが行われなかった場合は、手動でアプリケーションが対応するファイル形式との関連付けを行い、イメージファイルのアイコンをダブルクリックした時に適切なアプリケーションが起動するようにします。

以下の手順にしたがって、Windows 95/98、また Windows NT 環境でアプリケーションと特定のファイル形式の関連付けをしてください。

1. Windows のエクスプローラを起動します。メニューから [表示] - [フォルダオプション] を選択し、[ファイルタイプ] タブをクリックします。
2. 新しいファイルタイプを作成するには、[追加] ボタンをクリックします。既存のファイルタイプを編集するには、[編集] ボタンをクリックします。
3. [タイプの説明] フィールドに説明を記述し、ファイルタイプと関連付けられた拡張子を入力します。
4. [追加] をクリックし、このファイルタイプのファイルで実行するアプリケーションを定義します。
5. [アクション] フィールドに、Open と入力します。[アクションを実行するアプリケーション] フィールドに、指定した拡張子のファイルを開くアプリケーションへのパスを指定します。

付録 A トラブルシューティング

この付録では、以下について説明します。

- AXIS 7000/FX を工場出荷時のデフォルト設定に戻す
- AXIS 7000/FX フロントパネルのインディケータの動作
- AXIS 7000/FX のエラーメッセージの意味
- ログファイルの表示

工場出荷時のデフォルト設定に戻す

工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、以下のいずれかの方法を利用します。

- リセットボタン
- Web ブラウザ
- FTP

重要！

工場出荷時のデフォルト設定に戻した場合、送信先、プロファイルを含む現在の設定がすべて失われます。22 ページ「IP アドレスを割り当てる」の説明にしたがって、AXIS 7000/FX に IP アドレスを割り当てる必要があります。

リセットボタン 以下の手順にしたがって、リセットボタンを利用して工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。

重要！

利用していた root パスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンを利用して工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。

1. AXIS 7000/FX の外部電源を取り外し、電源を切ります。
2. リセットボタンを押したまま、AXIS 7000/FX の電源を入れます。Status インディケータが 2 秒間隔で点滅するまで、リセットボタンを押しつづけます。



リセットボタン

3. リセットボタンを離し、最低でも 2 秒以上 (Status インディケータが 1 回点滅するまで) 待ちます。
4. Status インディケータが常時点灯するまで、約 30 秒間リセットボタンを押しつづけます。
5. AXIS 7000/FX は工場出荷時のデフォルト設定に戻りました。
6. AXIS 7000/FX の外部電源を取り外し、再度接続して AXIS 7000/FX を再起動します。

Web ブラウザ

以下の手順にしたがって、Web ブラウザを利用して工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。

1. Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの [場所/アドレス] フィールドに、**AXIS 7000/FX** のホスト名または IP アドレスを入力します。[スキャンドキュメント] ページが表示されます。
3. [管理者] ボタンをクリックし、[**AXIS 7000/FX**] ページを表示します。
4. [デフォルトの設定に戻す] をクリックします。
AXIS 7000/FX は工場出荷時のデフォルト設定に戻り、再起動します。

FTP

以下の手順にしたがって、FTP を利用して工場出荷時のデフォルト設定に戻してください。

1. 以下のコマンドを入力し、**AXIS 7000/FX** にログインします。
`ftp AXIS 7000/FX の IP アドレス`
2. ユーザ ID とパスワードの入力を求められます。ユーザ ID に `root`、パスワードにデフォルトの `pass` を入力します (`root` は最も高い権限を持つユーザ ID です)。
3. 以下のコマンドを入力し、工場出荷時の設定に戻します。
`get defaults`
4. **AXIS 7000/FX** が自動的に再起動します。
5. お使いの FTP のバージョンにより、`quit`、`bye`、または `exit` を入力して、FTP セッションを終了します。

AXIS 7000/FX は工場出荷時のデフォルト設定で再起動します。

フロントパネルインディケータの動作

Power インディケータはハードウェアによって制御され、AXIS 7000/FX に電源が供給されている時は、常に点灯しています。他のインディケータは、ソフトウェア（ファームウェア）によって制御されます。

正常な状態 以下の表に、正常時のフロントパネルインディケータの動作を示します。

イベント	Status インディ ケータ	Busy インディ ケータ	Network インディ ケータ	備考
電源投入時	点灯	点灯	点灯	装置への初期電源供給
	点灯	消灯	消灯	メモリテスト
	点滅	消灯	消灯	セルフテストの実行中
	点灯	消灯	点滅	ネットワークトラフィックがある場合は、Network インディケータが点滅します。
読み取り	点灯	点灯	点滅	
アイドル状態	点灯	消灯	点滅	ネットワークトラフィックがある場合は、Network インディケータが点滅します。
フラッシュローディング	高速で点滅	高速で点滅	高速で点滅	フラッシュローディング中は、Network インディケータが高速で点滅します。

エラー状態 以下の表に、エラー時のインディケータの動作を示します。

イベント	Status インディ ケータ	Busy インディ ケータ	Network インディ ケータ	備考
電源投入時	点灯	消灯	消灯	読み取り機器に接続された SCSI ケーブルを確認します。
	消灯	消灯	消灯	ネットワークに接続された RJ45 ケーブルを確認します。
アイドル状態	点灯	消灯	消灯	ネットワークに接続された RJ45 ケーブルを確認します。ネットワークトラフィックがある場合は、Network インディケータが点滅します。
EEPROM のエラー	高速に点滅	消灯	消灯	ネットワーク管理者に相談してください。
FLASH PROM のエラー	点滅	消灯	点滅	ネットワーク管理者に相談してください。
SRAM のエラー	点滅	点滅	消灯	ネットワーク管理者に相談してください。
DRAM/DIMM のエラー	点滅	消灯	消灯	ネットワーク管理者に相談してください。

イベント	Status インディ ケータ	Busy インディ ケータ	Network インディ ケータ	備考
DRAM/DIMMの 設定エラー	点滅	点滅	消灯	ネットワーク管理者に相談して ください。
ソフトウェアと ハードウェアの 混合エラー	点滅	点滅	点滅	ネットワーク管理者に相談して ください。
不正なシリアル 番号	点滅	点滅	点滅	ネットワーク管理者に相談して ください。
フラッシュロー ディングの失敗	点滅	消灯	消灯	ネットワーク管理者に相談して ください。

Status インディ ケータが消灯

デジタル複写機 / スキャナなどの読み取り機器との通信に問題が発生した場合、Status インディケータが消灯します。AXIS 7000/FX の液晶パネルにメッセージが表示され、エラー状態を示す情報を提供します。

Network インディ ケータが消灯

ネットワークトラフィックがある場合、Network インディケータは点滅します。ネットワークが利用されているにも関わらず、Network インディケータが点滅しない場合は、ネットワークとの接続を確認してください。

エラーと警告メッセージ

以下の表に、AXIS 7000/FX のコントロールパネルに表示されるエラーまたは警告メッセージを示します。

メッセージ	説明
Scanner lamp failure	読み取り機器のランプが破損しています。読み取り機器の説明書の指示にしたがってください。
Scanner fuse blown	読み取り機器のフューズが壊れています。読み取り機器の説明書の指示にしたがってください。
Scanner compression unit failure	読み取り機器のイメージ圧縮機能が正しく動作していません。読み取り機器の製造元にお問い合わせください。
Scanner hardware failure	読み取り機器にハードウェアの故障が発生しています。読み取り機器の製造元にお問い合わせください。
Scanner firmware failure	読み取り機器にソフトウェアの問題が発生しています。読み取り機器の製造元にお問い合わせください。
SCSI parameter length illegal	SCSI コマンドの長さが正しくありません。AXIS 7000/FX のご購入先にお問い合わせください。
Invalid SCSI command	読み取り機器は、所定の SCSI コマンドに対応していません。AXIS 7000/FX のご購入先にお問い合わせください。

メッセージ	説明
Invalid field in SCSI CDB	SCSIコマンドに不正なフィールドが含まれています。AXIS 7000/FX のご購入先にお問い合わせください。
SCSI command sequence illegal	読み取り機器は、送信された順番とおりに SCSI コマンドを受信できません。AXIS 7000/FX のご購入先にお問い合わせください。
Invalid field in SCSI parameter list	SCSI パラメータブロックに、1 つまたは複数の不正なフィールドが含まれています。AXIS 7000/FX のご購入先にお問い合わせください。
Scanner not ready, please check scanner and restart the scan server	読み取り機器にエラーが発生しました。読み取り機器を点検し、AXIS 7000/FX を再起動してください。
A timeout has occurred on the scanner, the job has been canceled	読み取り機器を点検し、再度読み取りを行ってください。
Out of memory	読み取ったイメージに含まれるデータ量が多すぎます。別のプロファイルを利用し、再度読み取りを実行してください。
Out of scanner image memory	読み取ったイメージに含まれるデータ量が多すぎます。
Unresolved name: server name	サーバ名 にマップされた IP アドレスが見つかりません。
Not available: server address	サーバアドレス に指定されたサーバとの接続が確立できません。しばらくしてから、接続し直してください。
Login failed: server address	ファイルへの送信先に指定された FTP サーバのパスワードが正しくありません。
Disconnected: destination	送信先 に指定された送信先との接続が失われました。イメージの転送は中断されます。
No valid mail recipient found	選択された電子メールへの宛先が正しくありません。
Illegal address recipient	電子メールへの送信先に指定された電子メールアドレスが正しくありません。
Illegal directory on: server address	ファイルへの送信先に指定されたディレクトリが存在しません。
Unable to open file on:	デフォルトのファイル名がありません。
Write error on: server address	ファイルへの送信先に指定されたディレクトリに対し、適切なアクセス権がありません。
No info file on: server address	情報ファイルを FTP サーバに格納できません。メモリ不足または名前が競合している可能性があります。イメージファイルは削除されます。
Paper jam	読み取り機器で紙詰まりが発生しています。紙を取り除いてから、読み取りを実行してください。
No paper in scanning device	シートフィーダにドキュメントがセットされていません。フラットベッド式ではないデジタル複写機 / スキャナに適用されます。

メッセージ	説明
Scanner warming up, please retry	読み取り機器のランプは、適正な温度と輝度に達していません。
Scanner not ready, please check scanner and retry	読み取り機器はビジー状態です。再試行してください。エラーが繰り返し発生する場合は、読み取り機器の製造元にお問い合わせください。
The ADF cover is open, please check and retry	ADF カバーが確実に閉まっていることを確認し、再度読み取りを実行してください。
Could not connect to LDAP server	日本では対応していません。
The user specified for LDAP is invalid	日本では対応していません。
Invalid LDAP credentials (e.g. invalid user or password)	日本では対応していません。
Illegal LDAP filter specified	日本では対応していません。
User and password are required to connect to this LDAP server	日本では対応していません。
User and password can not be used to connect to this LDAP server	日本では対応していません。
No destinations were retrieved	日本では対応していません。
LDAP error! No/several e-mail address(es) were retrieved	日本では対応していません。
Missing mandatory FTP parameter for external address book	外部アドレス帳の FTP 設定を確認し、再試行してください。
Scanner not connected	読み取り機器の接続を確認し、再試行してください。
Scanner not supported	接続されている読み取り機器には対応していません。コピーまたは読み取りは、正しく実行されません。
Scanning failed	送信中にエラーが発生しました。エラーの前に表示されたメッセージを参照してください。
Device is busy	しばらくしてからもう一度やり直してください。
Illegal queue for:	指定した LPD プリントキューがありません。スペルおよび構文を確認してください。
Illegal command for (The printer may be busy):	指定したプリンタへの送信先に対し、不正な LPD モードが選択されています。
Time synchronization has been established	NTP (Network Time Protocol) を利用して NTP サーバに接続し、時刻が設定されています。

ログファイルを表示する

AXIS 7000/FX のログファイルには、AXIS 7000/FX の起動後から発生したすべてのイベントおよびエラーが、自動的に記録されます。以下の方法を利用して、ログファイルにアクセスすることができます。

- コントロールパネル
- Web ブラウザ

注意：

AXIS 7000/FX の再起動または電源の再投入を行った場合、ログファイルに記録されたエラー以外のイベントはすべて消去されます。

コントロールパネル 以下の手順にしたがって、コントロールパネルからログファイルを表示してください。

1. Menu  キーと Select  キーを同時に押して、**Advanced menu** を表示します。
2. Up/Down   キーを使用して、**Event log** オプションを表示します。
3. Select  キーを押して、サブメニューに入ります。
4. Up/Down   キーを押して、メッセージをスクロールします。Event log: の右横に、最も新しいイベントログから順番に番号 (1 ~) が表示されます。

Web ブラウザ 以下の手順にしたがって、Web ブラウザからログファイルを表示します。

1. Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの [場所/アドレス] フィールドに、AXIS 7000/FX のホスト名または IP アドレスを入力します。

例：

http://192.168.0.80/

3. AXIS 7000/FX のホームページが表示されます。[管理者] ボタンをクリックします。
4. [イベントログ] ボタンをクリックします。
イベントログが表示されます。

注意：

[イベントログを消去する] をクリックすると、ログファイルに記録されたイベントおよびエラーはすべて消去されます。

付録 B パラメータリスト

以下の表に、AXIS 7000/FX のパラメータリストを示します。列の左から、パラメータ名、適用可能なデフォルト値、パラメータの簡単な説明が記されています。

重要! パラメータは、大文字と小文字を区別します。以下の表に示すとおり、値を正確に入力する必要があります。

パラメータ名	値	説明
[Server]		
HardwareAddress	= 00:40:8c:18:02:3c	AXIS 7000/FX のハードウェアアドレスを指定します。ハードウェアアドレスは、シリアル番号と同じです。
Date	= yyyy-mm-dd	日付を、yyyy-mm-dd（西暦 - 月 - 日）の形式で指定します。
Time	= hh:mm:ss	AXIS 7000/FX が NTP を利用して移動しているタイムゾーンを自動的に指定します。 時刻は、hh:mm:ss（時 - 分 - 秒）の 24 時間表示形式を利用して手動で設定することもできます。 注意: AXIS 7000/FX にはリアルタイムクロックが内蔵されています。電源を切った後も、時刻は保持されます。
FactoryDefaults	= no	工場出荷時のデフォルト設定に戻すには、このパラメータを yes に設定してください。デフォルト設定に戻した場合、現在の設定はすべて失われます。
Restart	= no	AXIS 7000/FX を再起動するには、このパラメータを yes に設定してください。
TimeZone	= UTC	AXIS 7000/FX が動作するタイムゾーンを指定します。
TimeSyncSource	= NTP	AXIS 7000/FX の時刻合わせのソースを指定します。有効な値は、NTP または None です。
ServerPassword	= pass	サーバパスワードを指定します。管理者 (Supervisor/Administrator) が管理者ページで設定を行う場合、このパスワードの入力を求められます。パスワードは、基本的に HTTP、SNMP、FTP などのすべてのプロトコルで使用されます。一度設定ファイルに書き込まれると、パスワードは「*」に置きかえられて表示されます。
DefaultProfile	= Text	デフォルトのプロファイルを指定します。
DefaultPaperSize	= letter	デフォルトの用紙サイズを指定します。
TemporaryDestinations	= yes	ユーザに対し、一時的な電子メールへの送信先の追加を許可する場合に指定します。
TemporaryProfiles	= yes	ユーザに対し、一時的なプロファイルの追加を許可する場合に指定します。

パラメータ名	値	説明
WebScanning	= yes	ユーザに対し、スキャンドキュメントの使用を許可する場合に指定します。スキャンドキュメントとは、デジタル複写機 / スキャナにセットしたドキュメントの表示および保存を、AXIS 7000/FX の Web インターフェイスを利用して行うものです。
SpecifySender	= no	ユーザに対し、AXIS 7000/FX のコントロールパネルを利用した差出人の指定を許可する場合は、yes を設定します。
FrontPanelConfiguration	= yes	ユーザに対し、コントロールパネルからのネットワーク設定を許可する場合に指定します。
PDFRotation	= no	このパラメータが yes の場合、ドキュメントの読み取りまたはコピーに関わらず、ドキュメントを長い辺に合わせてフィーダにセットすることができます。
[IP]		
InternetAddress	= 0.0.0.0	AXIS 7000/FX の IP アドレスを指定します。IP アドレスは、他のネットワークデバイスと競合しないよう、唯一かつ有効な値を設定する必要があります。
DefaultRouter	= 0.0.0.0	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。ローカルネットワークの外に宛てたすべてのデータ（サブネットマスクの値に基づいた）は、まずデフォルトゲートウェイに送信されます。他のルータを経由した再ルーティングは、自動的に行われます。このパラメータが 0.0.0.0 の場合、デフォルトゲートウェイは設定されていません。
NetMask	= 0.0.0.0	サブネットマスクを指定します。この値を利用して、データをローカルネットワーク内にとどめるのか、あるいはルータを経由して送信するのかを決定します。たとえば、通常のクラス C マスクは、255.255.255.0 です。このパラメータが 0.0.0.0 の場合、自動でルータの検知が行われます。
BOOTPEnable	= yes	BOOTP を利用して IP アドレスの設定を行えるようにします。
RARPEnable	= yes	RARP を利用して IP アドレスの設定を行えるようにします。
DHCPEnable	= yes	DHCP を利用して IP アドレスの設定を行えるようにします。
DomainName	= company.se	AXIS 7000/FX が属するドメイン名を指定します。ドメインは、ネットワーク上でグループ名を割り当てられたコンピュータの集まりを指しています。1つのドメインには、2つ以上のワークグループが含まれる場合があります。
PrimaryDNS	= 0.0.0.0	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。たとえば、IP アドレスの代わりにホスト名を利用して送信先の設定が行うときに使用されます。

パラメータ名	値	説明
SecondaryDNS	= 0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。プライマリ DNS サーバが利用できないとき、また接続されていないときに使用されます。
NTPServer	= 0.0.0.0	時刻同期に使用する NTP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。
ProtectIP	= off	ユーザに対し、IP アドレスの変更を許可する場合は、yes を設定します。
[HTTP]		
ExternalLink	=	カスタマイズしたリンクへの URL、たとえば企業の Web サイトなどを指定します。このリンクは、AXIS 7000/FX の Web インターフェイスから利用することができます。
ExternalImage	=	カスタマイズした外部リンク（イメージ）への URL を指定します。
[SNMP]		
GetCommunityName	= public	対応するすべての SNMP オブジェクトに対し、読み取り専用のアクセス権を持つコミュニティを指定します。ただし、WriteCommunity、SupervisorPassword、ftpPassword は除きます。このパラメータは、ReadCommunity SNMP オブジェクトに対応します。
TrapDestination	= 0.0.0.0	SNMP Trap が送信される IP アドレスを指定します。このパラメータは、TrapAddress SNMP オブジェクトに対応します。デフォルト値は 0.0.0.0 で、SNMP Trap は無効になっています。
TrapCommunityName	= public	生成されたすべての SNMP Trap に対するコミュニティを指定します。このパラメータは、TrapCommunity SNMP オブジェクトに対応します。
SystemContact	=	オプションのエントリで、プレーンテキストを使用します。このパラメータは、システムの担当者名を表示する場合などに使用されます。
SystemName	=	オプションのエントリで、プレーンテキストを使用します。このパラメータは、システムの名前を表示する場合などに使用されます。
SystemLocation	=	オプションのエントリで、プレーンテキストを使用します。このパラメータは、システムの場所を表示する場合などに使用されます。
AuthenticationTrap	= disabled	SNMP の Authentication Failure Traps の有効 / 無効を切り替えます。このパラメータは、snmpEnableAuthenTraps (MIB-II) SNMP オブジェクトに対応しています。

パラメータ名	値	説明
[Clients]		
InformationLevel	= Basic	読み取ったイメージとともに転送されるデフォルトのイメージ情報を指定します。送信先でイメージに含めるイメージ情報が設定されていない場合は、この設定が使用されます。有効な値は、 <i>Nothing</i> (なし)、 <i>Basic</i> (基本)、 <i>Complete</i> (完全) です。 <i>Basic</i> には AXIS 7000/FX、接続されているデジタル複写機 / スキャナ、読み取り時のパラメータ設定などの情報が含まれます。 <i>Complete</i> にはイメージに関連するプロファイル設定も含まれます。
FTPDefaultUser	= anonymous	送信先で設定されていない場合は、このユーザ名が使用されます。
FTPDefaultPassword	= AXIS_7000@any.com	送信先で設定されていない場合は、このパスワードが使用されます。このパラメータには読み取ったイメージを転送するユーザIDを含めることもでき、管理作業に役立ちます。
FTPDefaultFileName	= img%3i.%e	転送されたファイルにファイル名が割り当てられていない場合、この名前が使用されます。デフォルトのファイル名は、 <i>img%3i.%e</i> になります。 <i>%3i</i> は 3 桁の数字、 <i>%e</i> はファイルの拡張子を示します。たとえば、 <i>img001.tif</i> のようになります。
SMTPReplyAddress	=	AXIS 7000/FX の管理者の電子メールアドレスを指定します。 注意：有効な SMTP 返信アドレスを利用して AXIS 7000/FX の設定を行ってください。
SMTPSubject	= A scanned image	読み取ったイメージを含む電子メールの件名に表示するテキストを指定します。
URL FTP Server	=	読み取ったイメージを保存する FTP サーバの IP アドレスを指定します。
URL FTP User	=	FTP サーバにログインするためのユーザ名を指定します。
URL FTP Password	=	FTP サーバにログインするためのパスワードを指定します。
URL Directory	=	イメージを保存する FTP サーバ上のディレクトリを指定します。
URL	=	指定したディレクトリへの外部 URL を指定します。たとえば、 <i>http://www.company.com/document/filename</i> などです。このパラメータは、ユーザが社外の送信先に読み取ったイメージを送信する場合に必要です。空欄の場合は、URL は他のフィールドから作成されます。
Use URL as default	= no	イメージの保存先を参照するハイパーリンクを送信する場合、このオプションを指定しません。
[Address Book]		
Retrieve Method	= None	アドレス帳を検索する方法を、 <i>None</i> 、 <i>FTP</i> 、 <i>LDAP</i> から選択します。

パラメータ名	値	説明
FTP Server	=	FTP サーバの IP アドレスを指定します。
FTP User	=	FTP サーバにログインするためのユーザ名を指定します。空欄の場合、FTPDefaultUser パラメータの値が使用されます。
FTP Password	=	FTP サーバにログインするためのパスワードを指定します。空欄の場合、FTPDefaultPassword パラメータの値が使用されます。
FTP Directory	=	ファイルを保存する FTP サーバ上のディレクトリを指定します。
FTP File Name	=	FTP サーバ上のファイルの名前を指定します。
LDAP Server	=	日本では対応していません。
LDAP User	=	日本では対応していません。
LDAP Password	=	日本では対応していません。
LDAP Port	= 389	日本では対応していません。
LDAP Search Base	=	日本では対応していません。
LDAP Name Field	= cn	日本では対応していません。
LDAP Mail Field	= mail	日本では対応していません。
LDAP Filter	=	日本では対応していません。
LDAP Reload Interval	= 12	日本では対応していません。
[International]		
Language	= U.S. English	AXIS 7000/FX のコントロールパネルで使用する言語を選択します。有効な値は、 <i>U.S. English</i> 、 <i>German</i> 、 <i>French</i> 、 <i>Italian</i> 、 <i>Swedish</i> 、 <i>Spanish</i> です。
Unit	= inches	用紙サイズなどで利用する長さの単位を指定します。有効な値は、 <i>inches</i> または <i>cm</i> です。
Keyboard Layout	= U.S. English	利用している外部キーボードに適合するレイアウトを指定します。
[SMTP]		
Primary Mail Server	= mail	AXIS 7000/FX に電子メール機能を提供する、SMTP サーバの IP アドレスを指定します。DNS を利用している場合は、ホスト名を指定します。 例：mail、mail.domain.com、192.36.253.80
Secondary Mail Server	=	セカンダリ SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。プライマリ SMTP サーバが利用できないとき、また接続されていないときに使用されます。
Connection Timeout	=10	接続タイムアウトまでの時間を指定します。
[Authentication]		
Authentication Method	= None	日本では対応していません。
Authentication TimeOut	= 60	日本では対応していません。
LDAP Server	=	日本では対応していません。
LDAP Port	= 389	日本では対応していません。

パラメータ名	値	説明
LDAP Search Base	=o=company name, c=country code	日本では対応していません。
LDAP Name Field	=cn	日本では対応していません。
LDAP Mail Field	= mail	日本では対応していません。
LDAP User ID Field	= uid	日本では対応していません。
[Destinations]		利用できる送信先を指定します。
Clear List First	= no	
Destinations	= x	AXIS 7000/FX で定義された送信先の数を指定します。
Destination0	= Destination name	
[Destination-name]		
Description	= Descriptive name	ファイルへの送信先の名前を指定します。この名前は、AXIS 7000/FX のコントロールパネルの送信先リストに表示されます。
Transfer method	= Scan-to-e-mail (SMTP), Scan-to-e-mail (URL), Scan-to-file (FTP), Scan-to-Print (TCP) and Scan-to-print (LPD)	読み取ったイメージの送信方法、つまり、どのプロトコルを使用して送信するか指定します。
Destination	= Directory, Port number or Print Queue	Transfer method パラメータの指定により、次のいずれかの値が定義されます。電子メール受信者の電子メールアドレス (SMTP)、ファイルに送信する場合のディレクトリ (FTP)、プリンタに送信する場合のポート番号 (TCP) またはプリントキュー (LPD)。
[Destination-name (URL)]		
Description	= name (URL)	ファイルへの送信先の送信先名を指定します。この名前は、AXIS 7000/FX のコントロールパネルの送信先リストに表示されます。
Transfer method	= Scan-to-URL (SMTP & FTP)	読み取ったイメージの送信方法、つまり、どのプロトコルを使用して送信するか指定します。
Destination	= name@company.com	電子メール受信者の電子メールアドレスを定義します (SMTP)。
[Destination-printer]		
Description	= printer	プリンタの名前を指定します。この名前は、AXIS 7000/FX のコントロールパネルの送信先リストに表示されます。
Transfer method	=Scan-to-print (LPD & TCP)	読み取ったイメージの送信方法、つまり、どのプロトコルを使用して送信するか指定します。
Destination	=Printer Queue	プリンタに送信するためのプリントキューを定義します (LPD)。

パラメータ名	値	説明
Information level	= Nothing, Basic or Complete	読み取ったイメージとともに転送されるデフォルトの情報量を指定します。印刷日、印刷時間、印刷ジョブの送信先など、このパラメータの値が Nothing 以外に設定されている場合に有効になります。[Clients - Information Level] も参照してください。
Server	=IP address or DNS name	送信先の種類により、読み取ったイメージの送信先の IP アドレス、またはホスト名を指定します。
Resolutions	= 75, 100, 150, 200, 300, 600, 1200	送信先のプリンタが対応する解像度を指定します。
Paper sizes	= Executive, Letter, Legal, Ledger, A4, A3	送信先のプリンタが対応する用紙サイズを指定します。
Duplex supported	= yes/no	送信先のプリンタが両面印刷に対応しているか指定します。
Duplex selection	= SingleSided, DoubleSided, AsScanned	送信先のプリンタの印刷方法を定義します。
LPD Mode	= SingleDataFile, SplitSourceFile, BufferDataFiles, MultipleDataFiles	送信先のプリンタの LPD モードを指定します。
[Destination-Scan-FTP]		
Description	= Scan-FTP	FTP サーバの名前を指定します。この名前は、AXIS 7000/FX のコントロールパネルの送信先リストに表示されます。
Transfer method	= Scan-to-file (FTP)	読み取ったイメージの送信方法、つまり、どのプロトコルを使用して送信するか指定します。
Server	= IP address	読み取ったイメージを保存する FTP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。
Index file	= no	FTP サーバに連番を保存するオプションを定義します。
[Subjects]		
Clear List First	= no	
Subjects:	= 1	
Subject0:	= Subject-A Scanned Image	
[Subject-A Scanned Image]		
Description	= A Scanned Image	電子メールへの送信先に読み取ったイメージを送信する場合、電子メールの件名に表示するテキストを指定します。
[Profiles]		
Clear List first	= no	利用できるプロファイルを指定します。
Profiles	= 10	
Profile0	= Profile-Color high	

パラメータ名	値	説明
Profile1	= Profile-Color low	
Profile2	= Profile-Color PDF	
Profile3	= Profile-Gray high	
Profile4	= Profile-Gray low	
Profile5	= Profile-Text	
Profile6	= Profile-Text high	
Profile7	= Profile-Text low	
Profile8	= Profile-Text PDF	
Profile9	= Profile-Text/Photo	
[Profile-Text]		このリストに含まれるパラメータは、すべてのプロファイルに適用されます。
Description	= Text	プロファイルの名前を指定します。この名前は、AXIS 7000/FX のコントロールパネルに表示されます。
X-Resolution	= 300	読み取りに使用する解像度を、24 ~ 600dpi (dot per inch) の間で指定します。高い解像度を設定すると高画質の読み取り結果を得られますが、読み取りに時間がかかる場合があります。利用できる解像度は、お使いのデジタル複写機 / スキャナによって異なります。
Y-Resolution	= 300	読み取りに使用する解像度を、24 ~ 600dpi (dot per inch) の間で指定します。
Data type	= Black & White	読み取るドキュメントのデータタイプ、および読み取ったイメージを表示するアプリケーションを指定します。
Paper orientation	= Portrait	読み取り時の用紙方向を指定します。
Image compression	= CCITT G.4	イメージ圧縮の種類を指定します。
File format	= TIFF	ファイルのフォーマットを指定します。
Double-sided	= Off	デジタル複写機 / スキャナで、ドキュメントの両面読み取りを行うかどうか指定します。このパラメータは、両面読み取りに対応する機器に対してのみ有効です。
Document mode	= Multi page	
Intensity	= 50	輝度のレベルを指定します。
Contrast	= 50	コントラストのレベルを指定します。コントラストは、画像に含まれる最も明るい部分、中間、暗い部分の色調です。
Quality	= 75	圧縮のレベルを指定します。
[Paper sizes]		
PaperSizes	= 14	AXIS 7000/FX で定義された用紙サイズの数を指定します。
PaperSize0	= PaperSize-A3	
PaperSize1	= PaperSize-A4	
PaperSize2	= PaperSize-A5	
PaperSize3	= PaperSize-B4	
PaperSize4	= PaperSize-B4 (JIS)	
PaperSize5	= PaperSize-B5	

パラメータ名	値	説明
PaperSize6	= PaperSize-B5(JIS)	
PaperSize7	= PaperSize-Business Card	
PaperSize8	= PaperSize-Executive	
PaperSize9	= PaperSize-Ledger	
PaperSize10	= PaperSize-Legal	
PaperSize11	= PaperSize-Letter	
PaperSize12	= PaperSize-Photo 3.5"x 5"	
PaperSize13	= PaperSize-Photo 4"x 6"	
[PaperSize-A3]	=	このリストに含まれるパラメータは、すべての用紙サイズに適用されます。
Description	= A3	用紙サイズの名前を指定します。この名前は、AXIS 7000/FX のコントロールパネルに表示されます。
Width	= 11.69 inches	用紙の幅を指定します。
Length	= 16.54 inches	用紙の長さを指定します。

付録 C ファームウェアの更新

AXIS 7000/FX のファームウェアは、内蔵のフラッシュメモリチップに保存されています。他の ROM デバイスなどと同じ様に、AXIS 7000/FX の電源を切った後もチップ内のデータは保持されます。フラッシュメモリの特徴は、データの消去と書き込みができることです。

新しいファームウェアを入手したらすぐに、FTP を利用して AXIS 7000/FX に簡単にロードすることができます。この章では、ファームウェアの更新手順について説明します。

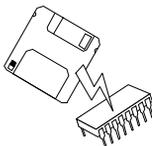
更新されたファームウェアを入手する

Axis Web サイト AXIS 7000/FX のファームウェアは、Axis から無料で提供されます。Axis のホームページからダウンロードしてご利用ください。

<http://www.axiscom.co.jp/>

フラッシュメモリを更新する

始める前に



ネットワークを経由して更新を行うには、以下のものが必要になります。

- AXIS 7000/FX の新しいファームウェア -
ファームウェアの名前は、製品名_バージョン.bin になります。
例：ファームウェアバージョン 1.00 の場合、7000FX_100.bin
- TCP/IP および FTP が稼動するネットワーク上のコンピュータ。

以下の手順にしたがって、AXIS 7000/FX のファームウェアを更新します。

1. DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。cd コマンドなどを利用して、ファームウェアが保存されているディレクトリに移動します。
(参考画面では、C: ¥WINDOWS ¥Axis を利用しています。)
2. 以下のコマンドを入力して AXIS 7000/FX にログインします。
`ftp AXIS 7000/FX の IP アドレス`
3. ユーザ ID およびパスワードの入力を求められます。ユーザ ID に root を入力して Enter キーを押し、パスワードにデフォルトの pass を入力して Enter キーを押しします。
4. bin と入力して Enter キーを押し、バイナリの転送モードに変更します。

5. 以下のコマンドを入力し、ファームウェアの更新を実行します（例：7000FX_100.bin flash）。
put ファームウェアの名前 flash
6. フラッシュローディングの実行中、AXIS 7000/FX のコントロールパネル上に Updating server というメッセージと、進捗状況を示す帯が表示されます。フラッシュローディングが完了するのを待ちます。通常、これには1～4分かかります。フラッシュローディングが完了すると、AXIS 7000/FX は新しいファームウェアを利用して自動的に再起動します。

注意！

フラッシュローディングを中断しないよう注意してください。転送が中断された場合、AXIS 7000/FX をご購入いただいた販売店において初期化作業が必要になることがあります。

7. ご利用の FTP のバージョンにしたがい、quit、bye、exit のいずれかを入力し、FTP セッションを終了します。

注意：

- Ws_ftpやFetchなどのウィンドウベースのFTPクライアントソフトウェアを利用する場合、ファームウェアのファイル名を「flash」に変更してからフラッシュローディングを実行する必要があります。

フラッシュローディングの参考画面

```

Microsoft(R) Windows 98
(C)Copyright Microsoft Corp 1981-1998.

C:¥WINDOWS>cd axis
C:¥WINDOWS¥Axis>ftp 192.168.0.80
Connected to 192.168.0.80.
220 AXIS 7000/FX Network Document Server V0.16 Nov 1 2000 ready.
User (192.168.0.80:(none)): root
331 User name ok, need password
Password:
230 User logged in
ftp> bin
200 TYPE set to I.
ftp> put 7000fx_100.bin flash
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for flash (192,168,70,180,4,71), (mode binary).
221-Transfer complete, flash programming finished OK.
Starting new software...
221 Reset, closing connection.
ftp: 1192326 bytes sent in 64.10Seconds 18.60Kbytes/sec.
ftp> bye

C:¥WINDOWS¥Axis>

```

付録 D 技術仕様

対応するシステム	TCP/IP、LPD (Line Printer Daemon)、HTTP (Hypertext Transfer Protocol) を利用した Web ブラウザ、および以下のプロトコルに対応するシステム。 <ul style="list-style-type: none"> • FTP (File Transfer Protocol) サーバ • SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) サーバ
対応する Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> • Netscape Navigator 4.0 以上 • Microsoft インターネットエクスプローラ 4.0 以上 • HTTP 1.0+、HTML 3.0+ 互換の Web ブラウザ
対応するプロトコル	HTTP、FTP、SMTP、TCP、IP、LPD、Reverse Telnet、Raw TCP/IP、ARP、RARP、BOOTP、DHCP、ICMP、SNMP、LDAP 注意: LDAP を利用した機能は、日本では対応していません。
対応する機器	<p>AXIS 7000/FX は、自動的に接続されたデジタル複写機 / スキャナの機種名を検出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • FUJI XEROX <p>AXIS 7000/FXが対応するデジタル複写機/スキャナの最新情報は、Axis のホームページからご覧頂けます。 http://www.axiscom.co.jp/</p>
対応するプリンタ	PCL プリンタ
対応するイメージフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> • PCL 5、TIFF 6.0、CCITT G.3 および G.4 (白黒イメージ用)、PackBits (グレースケール用)。単一ページおよび複数ページの TIFF に対応。すべてのイメージフォーマットで、非圧縮 TIFF に対応。 • 単一ページの JFIF (JPEG File Interchange Format)。 • Adobe PDF 1.2、CCITT G.4 (白黒イメージ用)、JPEG 圧縮 (カラーおよびグレースケールイメージ用)。単一ページおよび複数ページの PDF に対応。
コントロールパネル	<p>液晶パネルは、2 行 × 16 桁の英数字を表示することが可能。横スクロールで 40 桁まで表示。利用できる言語は、英語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、およびスペイン語。</p> <p>Status、Busy、Network、Power の 4 つのインディケータ。 Menu、Up、Down、Select、Send、Add、Cancel の 7 つのキー。</p> <p>送信先、プロファイル、用紙サイズ、件名、印刷部数、両面読み取りなどを選択するメニュー。送信先の複数選択が可能。エラーログの表示。</p>
インストール	<p>コントロールパネル、オプションのミニキーボード、または ARP、RARP、BOOTP、DHCP を利用した IP アドレスの設定。Web ブラウザ、キーボード、または FTP サーバからのダウンロードによる、電子メールおよびファイルへの送信先の設定。</p>

ネットワーク管理	Web ブラウザを利用した設定と管理。 SNMP MIB-II に対応。
セキュリティ	設定および管理を行う管理者のログオン認証。 管理者による利用できる送信先の指定、およびユーザに対する一時的な電子メールへの送信先の追加許可。
送信先の数	アドレスの長さによって異なるが、管理者はおよそ 1,500 の送信先を定義することが可能。最大数は、通常 EEPROM 上の利用できるメモリによって制限される。
ファームウェアの更新	フラッシュメモリにより、ネットワーク上で FTP を利用したりモート操作による AXIS 7000/FX のファームウェア更新が可能。
ハードウェア	CPU : 32 ビット RISC コントローラ (AXIS ETRAX 100) フラッシュメモリ : 2 M バイト RAM : 16 M バイト
論理ネットワーク接続	IEEE 802.2、IEEE 802.3、SNAP、Ethernet II のフレームタイプの同時使用が可能。
物理ネットワーク接続	ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル (10baseT イーサネットまたは 100baseTX ファーストイーサネット)。
オプションアクセサリ	ミニキーボード : 101 英語キーボード SCSI ケーブル : 50 ピン高密度シールド付き (マイクロ D) SCSI ケーブル : 50 ピン高密度シールド付きから 50 ピン低密度シールド付き (セントロニクス)
外部電源	外部電源 (PS-E) 経由による 12V DC (13.2VA)
寸法	高さ : 4.3 cm 幅 : 14.9 cm 奥行き : 22.4 cm
重量	0.7 kg
使用環境	温度 : 5 ~ 40°C 湿度 : 20 ~ 80% (RHG、結露不可)
認証	FCC Subpart B、Class A
EMC	CE EN 55022、EN 55024 
安全性	EN 60950、UL、CSA
保証期間	1 年

すべての仕様は予告なく変更されることがあります。

付録 E 用語集

- ADF** Automatic Document Feeder (自動ドキュメントフィーダ)
- AIX** Advanced Interactive eXecutive
IBM が開発した UNIX オペレーティングシステムの一つであり、メインフレームを含む IBM の各種コンピュータ上で動作する。
- ARP** Address Resolution Protocol (アドレス解決プロトコル)
同一ネットワークセグメント上にある他のホストの物理アドレスを見つけられるようにする、TCP/IP プロトコルの一つ。
- BOOTP** Boot Protocol
インターネットノードが、IP アドレスなどの起動時の情報を検出できるようにする、TCP/IP プロトコルの一つ。
- BSD** Berkeley Software Distribution
カリフォルニア大学バークレー校による UNIX オペレーティングシステム。
- CCITT G.4** TIFF ファイルの最も一般的な圧縮フォーマット。読み取ったイメージの表示や保存に使用される。
- CMIP** Common Management and Information Protocol
- DHCP** Dynamic Host Configuration Protocol
ネットワーク化されたシステムに対し、ネットワークインターフェイスカードのアドレスに基づいてIPアドレスや他の設定情報を割り当てるシステム。
- DNS** Domain Name System
階層型のネーミングサービスで、ピリオドで区切られたテキスト名の組み合わせを利用し、固有の名前を作成する。
- FTP** File Transfer Protocol
ネットワーク上のコンピュータ間でファイルを転送するために利用する、TCP/IP プロトコルの一つ。
- HTML** Hypertext Markup Language
Web ページおよび他のハイパーテキストドキュメントの作成に利用する、一般的なハイパーテキスト言語。
- HTTP** Hypertext Transfer Protocol
Web ブラウザなど、Web ベースの通信のための TCP/IP プロトコルの一つ。

- IP** Internet Protocol
TCP/IP セッション層のプロトコルで、IP アドレスを基に外に出て行くメッセージをルーティングし、中に入ってくるメッセージを認識してパケットの転送を制御。
- JFIF** JPEG File Interchange Format
ビットマップイメージを格納するためのフォーマット。
- JPEG** Joint Photographic Experts Group
カラーまたはグレースケールのビットマップイメージのための圧縮方法。
- LCD** Liquid Crystal Display (液晶パネル)
- LDAP** Lightweight Directory Access Protocol
オンラインディレクトリサービスにアクセスするためのプロトコル。
- LPD** Line Printer Daemon
ネットワーク印刷用のプロトコル。
- LED** Light Emitting Diode (発光ダイオード)
- MIB** Management Information Base
SNMP および CMIP が使用するネットワーク設定情報のデータベースで、ネットワーク設定の監視または変更で使用。
- MIME** Multipurpose Internet Mail Extension
添付されたイメージファイルなどと同様に、英語以外の文字を含む電子メールの転送を可能にする方法。
- NIS** Network Information Services
かつて Yellow Pages として知られていた、UNIX システムのセキュリティおよびファイルアクセス用のデータベース。
- NTP** Network Time Protocol
タイムサーバ (NTP サーバ) から時刻情報を入手するプロトコル。イベントログにメッセージを格納する時に時間情報を得るには、NTP サーバが指定されている必要がある。
- OCR** Optical Character Recognition
読み取ったドキュメントを、編集および検索が可能なテキストに変換する技術。

- PDF** Portable Document Format
電子ドキュメントを、異なるプラットフォーム間で配布するための形式。この形式のファイルを表示するには、Adobe Acrobat Reader がインストールされている必要がある。
- RARP** Reverse Address Resolution Protocol
DLC (Data-Link Control) アドレスの IP アドレスへの変換を制御する、TCP/IP プロトコルの一つ。
- RISC** Reduced Instruction Set Computing
限られた数のアセンブリ言語命令だけを認識するプロセッサ。
- SCSI** Small Computer System Interface
高速の平行インターフェイスで、一つのポートを利用してコンピュータと複数の周辺機器との接続に使用。
- SMTP** Simple Mail Transfer Protocol
電子メールの交換に使用する TCP/IP プロトコルの一つ。
- SNMP** Simple Network Management Protocol
ネットワーク上のノードを管理または監視するための TCP/IP プロトコルの一つ。
- TCP** Transmission Control Protocol
TCP/IP プロトコルスタックで利用される、コネクション指向のトランスポートレベルプロトコル。
- TIFF** Tagged Image File Format
ビットマップイメージを格納するためのフォーマット。通常、読み取ったドキュメントや非圧縮のイメージで使用。
- UNIX** 元々は AT&T によって開発された、32 ビットマルチタスク、マルチユーザオペレーティングシステム。
- URL** Uniform Resource Locator
インターネット上で公開されている情報の場所を指定する方法。
- UTC** Universal Time Coordinated
- YP** Yellow Pages
UNIX システムのセキュリティおよびファイルアクセス用のデータベース。現在は、NIS (Network Information Services) と呼ばれる。
- ディザ** 写真、特に読み取った写真にラスタ効果を与える方法。

- ミニ-DIN PS/2** PC とキーボードの接続に使用。キーボードに DIN コネクタが装備されている場合は、DIN コネクタからミニ-DIN コネクタへの変換アダプタの使用が必要。
- 両面 (duplex)** ドキュメントの両面を同時に読み取る機能。

付録 F 保証について

AXIS 7000/FX は、お買い上げ頂いてから一年間、 SENDバックによる無償保証が付いております。ただし、製品に付属の「お客様登録カード」をお送り頂いた方だけのサポートとなります。また、有償で保証期間を一年間だけ延長することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、保証期間終了後の故障に関しては、実費負担となります。

索引

数字

- 24 ビットカラー 64
- 4 ビットグレースケール 64

A

- Add キー 15
- Adobe Acrobat Reader 83
- Advanced menu
 - コントロールパネルを参照

- AIX システム 28
- AXIS ETRAX 100 11, 106

B

- BOOTP デーモン 29
- Busy インディケータ 14

C

- Cancel キー 15
- CCITT 65
- CCITT G.4 84

D

- DHCP マネージャ 26
- DNS 43
- Down キー 15
- Duplex
 - 両面読み取りを参照 80

H

- HTTP 44

I

- IP アドレスの割り当て 22
 - ARP 22, 27
 - BOOTP 22, 29
 - DHCP 22, 26
 - OS/2 環境 27
 - RARP 22, 28
 - UNIX 環境 27
 - キーボード 22, 24
 - コントロールパネル 22, 23

J

- JFIF フォーマット 65
- JPEG 65

- JPEG 画質レベル 64
- JPEG フォーマット 74

L

- LPD 印刷 57

M

- Menu キー 15
- MS-DOS プロンプト 27, 67

N

- Network インディケータ 14, 21
- NTP 37

P

- PCL フォーマット 56, 65, 74
- PDF 83
- PDF オプション 60
- PDF フォーマット 65
- ping コマンド 27
- Power インディケータ 14

R

- RAM 106
- RARP デーモン 28
- Raw TCP/IP 印刷 55
- RJ-45 コネクタ 13

S

- SCSI コネクタ 13, 20
- Select キー 15
- Send-to-E-mail 71
- Send-to-File 71
- Send-to-Print 72
- Send-to-URL 71
- Send-to-Web browser 71, 81
- Send キー 15
- SMTP 44, 71
- Status インディケータ 14

T

- TCP/IP の設定 42

TIFF フォーマット 65

U

Up キー 15

W

Web の設定 44

Web パブリッシング 84

Web ブラウザ

ログファイルを表示 92

あ

新しいプロファイル ボタン 78

い

一時的な送信先 51

Web ブラウザで追加 77

キーボードで追加 75

登録 52

一時的なプロファイル 65

Web ブラウザで追加 77

登録 65

一般 タブ 37

イベント

ログファイルを参照

イベントログ 48

イベントログを消去する 92

イメージ形式とアプリケーションの関連付け 84

イメージの編集ツール 83

イメージファイルを表示 83

イメージへの URL 44

印刷部数 79

インストール結果の確認 30

インディケータ

Busy 88

Network 88

Status 88

エラー状態 88

インディケータの動作 88

う

ウィザード 40

え

液晶パネル 15, 105

エラー

ログファイルを参照

エラーメッセージ 30, 89

お

オンラインヘルプ 34

か

解像度 63

外部アドレス帳 46

外部アドレス帳 タブ 46

外部送信先 49

外部電源 13, 19, 20

外部リンク 44

ボタンイメージの変更 44

カスタム ボタン 82

環境 タブ 38

管理者

パスワードの変更 37

管理者権限 26

管理者ボタン 35

管理ツール 34

き

キーボードコネクタ 13

キーボード操作の機能 17, 76

輝度 63

け

警告メッセージ 89

こ

工場出荷時のデフォルト設定 85

FTP 87

Web ブラウザ 87, 36

コマンドプロンプト 27, 67

コントラスト 63

コントロールパネル 15, 105

エラー 89

警告メッセージ 89

言語の選択 38

ログファイルを表示 92

Advanced menu 16, 24, 92

Event log 16, 92

Network Settings 16

Version 16

さ**再起動**

Web ブラウザ 36, 40

差出人 45

サブネットマスク 43

し

システム設定 36

詳細設定 ボタン 41

シリアル番号 26, 27

す

スキャンドキュメント 34, 78, 31, 77

せ

セカンダリ DNS サーバ 43

セカンダリメールサーバ 45

設定一覧 40

設定ファイルの編集

FTP 67

セルフテスト 21

そ

送信先 48, 70

送信先の検索 75

送信先のデフォルト値 49

送信先を指定した読み取り 72

送信先をすべて削除 49

て

定義済みプロファイル 64, 80

定義済み用紙サイズ 66

ディザ方式 64

データタイプ 63

デフォルトゲートウェイ 43

デフォルトの設定に戻す 87

デフォルトのプロファイルに戻す 38, 60

デフォルトの用紙サイズ 60

デフォルトの用紙サイズに戻す 66

電子メールに URL を記述 51

電子メールの件名 49

電子メールの設定 44

差出人 45

電子メールへの送信先 49

複数の受信者 50

一時的な送信先 52

添付ファイル 51

と

ドメイン名 43

な

長さの単位 38

ね

ネットワークコネクタ 13

ネットワーク設定 39

ウィザード 40

コントロールパネル 38

ネットワーク設定の確認

コントロールパネル 24

は

ハードウェアアドレス 36

ハイパーリンク 51

パスワード 35

バックパネル 13

パラメータリスト 93

ひ

日付と時刻 37

表示 フィールド 50

ふ

ファームウェア

更新 103

名前 103

バージョン 21, 36

ファイルへの送信先 52

ファイル名に拡張子を付ける 55

ファイル名に連番を付ける 54

フォーマット - 圧縮 63

ガイドライン 65

複数ページドキュメント 62

複数ページのイメージファイル 73

物理アドレス 26, 27

プライマリ DNS サーバ 43

プライマリメールサーバ 45

フラッシュメモリ 103, 106
フラッシュローディング 104
プリンタキュー 57
プリンタへの送信先 55
 ヘッダ情報 56, 57
プロファイル 59
 リストの更新 38
プロファイルの作成 60
フロントパネル 14

へ

ページへの URL 44
ヘッダ情報 56, 57
編集 ボタン 37

ほ

ポート番号 56
保証期間 106, 111

も

モノクロ 64

ゆ

ユーザオプション タブ 38
 ユーザが実行可能な作業 38
ユーザキー 15
ユーザ名 35

よ

用紙サイズ 62, 66
用紙方向 62
読み取り
 Web ブラウザから実行 81
読み取りパラメータ 78
 コントロールパネルから設定 78
読み取り方法 62, 70
予約 ボタン 82

り

リセットボタン 13, 86
両面印刷 56
両面読み取り 80

れ

連番の開始番号 54

連番を FTP サーバに保存する 54

ろ

ログファイル 92